

- N. Aoyagi: **Dissolution testing-relation with drug absorption**
 EUFEPS World Conference on Drug Absorption and Drug Delivery (2001. 6)
- 青柳伸男: 我が国の生物学的同等性試験と国際調和
 第10回 DDSカンフェランス (2001. 6)
- 伊豆津 健一, 小嶋 茂雄: **各種タンパク質と二糖類の凍結溶液中における混合性**
 低温生物工学会第47年会 (2001. 6)
- 香取典子, 青柳伸男, 小嶋茂雄: **含量均一性試験と質量偏差試験の適用—我が国における市販の錠剤およびカプセルについて—**
 平成13年度標準処方研究会 (2000. 10)
- 青柳伸男: **品質管理の新しい考え方: スキップ・工程内試験, パラメトリックリリース**
 平成13年度東北三県合同医薬品等製造管理者・責任技術者等講習会 (2001. 11)
- 青柳伸男: **溶出試験の変動要因と信頼性**
 平成13年度日本薬剤師会試験検査センター技術講習会 (2001. 11)
- 三原潔, 臺綾子, 石井文由, 青柳伸男, 緒方宏泰: **In vitro 溶出試験におけるラグ時間とヒト血中濃度との関連性の検討**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- 青柳伸男, 石井文由, 緒方宏泰: **In vivo 吸収の変動を予測しうる溶出試験の構築: ニフェジピン製剤**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- 伊豆津健一, 青柳伸男, 小嶋茂雄: **凍結溶液における各種タンパク質と糖類の相分離と高次構造安定化作用**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- Izutsu, K., Aoyagi, N., Kojima, S.: **Miscibility of proteins and saccharides in frozen solutions**
 American Association of Pharmaceutical Scientists
 Pharmaceutics and Drug Delivery Conference (2002. 4)
- 阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: **凍結乾燥製剤の安定性に及ぼす水の影響**
 低温生物工学会第47回セミナー “生物・食品と水” (2001. 6)
- Yoshioka, S.: **Molecular mobility of lyophilized formulations as measured by NMR and DRS**
 The Conference on freeze-drying of pharmaceuticals and biologicals, Colorado (2001. 8)
- 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: **^{13}C および ^1H -NMRによる凍結乾燥製剤の高分子添加剤における主鎖および側鎖の運動性の解析**
 第40回NMR討論会 (2001. 11)
- 阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: **スピン拡散測定に基づく固体分散体におけるニフェジピンとPVPの分散状態の解明**
 第40回NMR討論会 (2001. 11)
- 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: **タンパク質凍結乾燥剤中のデキストランおよびPVPの誘電緩和時間およびNMR緩和時間の比較**
 日本薬剤学会第17年会 (2002. 3)
- 阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: **非晶質ニフェジピンの結晶化速度および構造緩和時間に及ぼすPVPの影響**
 日本薬剤学会第17年会 (2002. 3)
- 田島紳介, 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄, 牧野公子, 大島広行: **凍結乾燥製剤中の β -Galactosidaseの失活および凝集のKWW式による解析**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- 阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: **凍結乾燥製剤中の塩基性リポソームの粒子径に及ぼす保存の影響**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- 吉岡澄江: **医薬品の有効期間の保証に関するレギュレーションの現状と未来**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)
- 鹿庭なほ子: **医薬品の分析法のバリデーション**
 Separation Sciences 2001・シンポジウム (2001. 6)
- Kaniwa, N.: **Japanese Perspectives on Pharmaceutical Product Release Rate Testing**
 DIA Workshop on Drug Dissolution Testing: Current Status and Future Challenges (2001. 6)

鹿庭なほ子：分析法のバリデーションについて
第21回医薬品GMP研究会 (2001. 10)

鹿庭なほ子, 佐井君江, 小澤正吾, 澤田純一：塩酸イリ
ノテカン及びその代謝物の分析法
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

Kikura-Hanajiri, R., Martin, R. S.* and Lunte, S. M.* :
**Microchip Electrophoresis with Electrochemical Detec-
tion for the Simultaneous Determination of Nitrite and
Nitrate**

The Microfluidics, Microarrays and BioMEMS Confer-
ence (2001. 8)

*The University of Kansas, USA

Kikura-Hanajiri, R., Martin, R. S.* and Lunte, S. M.* :
**Microfabricated Electrophoresis Chip for Simultaneous
Bioassays of Nitrite and Nitrate**

2001 American Association of Pharmaceutical Scientists
(AAPS) Annual Meeting (2001. 10)

*The University of Kansas, USA

Martin, R. S., Kikura-Hanajiri, R., Lacher, N. A. and
Lunte, S. M. : **Studies to Improve the Performance of
Electrochemical Detection for Microchip Electrophoresis**
5th International Conference on Miniaturized Chemical
and Biochemical Analysis Systems (μ TAS 2001) (2001. 10)

Huynh, B., Kikura-Hanajiri, R., Martin, R. S. and Lunte, S.
M. : **Microchip Electrophoresis with Electrochemical
Detection for the Simultaneous Determination of Nitrite
and Nitrate II**

12th Annual Fredric Conference on capillary Electropho-
resis (2001. 10)

花尻(木倉)瑠理, 鹿庭なほ子, 小嶋茂雄, Martin, R. S.,
Lunte, S. M. : **マイクロチップ電気泳動/電気化学検出
による nitrite 及び nitrate のバイオアッセイ法の開発**
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

坂本知昭, 鹿庭なほ子, 小嶋茂雄：医薬品の迅速分析
法—キノロン系合成抗菌薬—
第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001. 11)

坂本知昭, 鹿庭なほ子, 小嶋茂雄：キノロン系抗菌薬の
簡易HPLC分析法の開発 (第II報)
日本薬学会第122年会 (2002. 03)

最所 和宏, 中原 雄二：NaBH₃CN還元反応を経由し
たTMS誘導体化によるGC/MSを用いた毛髪中のベンゾ
ジアゼピン系向精神薬の分析法
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

川西 徹, 河合 洋, 柴山理恵, 水口裕之, 田中 光*,
田中直子*, 重信弘毅*, 早川堯夫：生細胞の機能を視
るプローブ —その光と影—
日本電子顕微鏡学会第57回学術集会シンポジウム (2001.
5)

*東邦大学薬学部

Mizuguchi, H., Hayakawa, T. : **Enhanced Anti-tumor
Effect by Fiber-modified Recombinant Adenovirus
Vectors Expressing Herpes Simplex Virus Thymidine
Kinase**

American Society of Gene Therapy, 4th Annual Meeting
(2001. 5-6)

Kobayashi, T., Niimi, S., Hyuga, M., Hayakawa, T.: **Left
lobe-specific increase of HGF and follistatin mRNA in
relation to the rat liver regeneration**

14th International Congress of Developmental Biology
(2001. 6)

新見伸吾, 堀川麻衣*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 小林
哲, 早川堯夫：初代培養ラット肝細胞においてアクチビ
ンABはEGFによるDNA合成促進を抑制するがアクチ
ビンBは抑制しない

第8回肝細胞研究会 (2001. 6)

*日本大学生物資源科学部

石井(渡部)明子, 内田恵理子, 水口裕之, 早川堯夫：プ
ラスミンによる血小板活性化の機構
第2回Pharmaco-Hematologyシンポジウム (2001. 6)

沢井 勇*, 斎藤芳郎*, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 早川
堯夫, 高橋和彦*：ヒトselenoprotein Pの糖鎖構造解析
第38回日本生化学会北海道支部例会 (2001. 7)

*北海道大学薬学部

豊田淑江, 山口照英, 押沢正, 内田恵理子, 早川堯夫：
HL-60細胞の好中球への分化・増殖におけるp70S6キ
ナーゼ (p70S6K) カスケードの役割についての研究
第22回日本炎症・再生医学会 (2001. 7)

水口裕之, 早川堯夫：ターゲティング能を有したアデ
ノウイルスベクターシステムの開発 —アデノウイルス

受容体 CAR を介して感染しないベクターシステムの開発

第 17 回日本 DDS 学会 (2001. 7)

岡田裕香^{*1}, 中川晋作^{*2}, 井上暢子^{*2}, 岡田直貴^{*3}, 水口裕之, 高橋幸一^{*1}, 水野亘恭^{*1}, 早川堯夫, 真弓忠範^{*2}: **TNF- α 発現ファイバーミュータントアデノウイルスベクターによるマウスメラノーマの遺伝子治療**

第 17 回日本 DDS 学会 (2001. 7)

^{*1} 武庫川女子大学薬学部

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*3} 京都薬科大学

斎藤友美^{*1}, 岡田直貴^{*1}, 飯山さやか^{*1}, 津田貴司^{*1}, 松原亜沙子^{*1}, 森直樹^{*1}, 水口裕之, 早川堯夫, 堤康央^{*2}, 中川晋作^{*2}, 真弓忠範^{*2}, 藤田卓也^{*1}, 山本昌^{*1}: **ファイバーミュータントアデノウイルスベクターにより抗原遺伝子導入した樹状細胞の免疫学的機能評価**

第 17 回日本 DDS 学会 (2001. 7)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

小泉直也^{*}, 水口裕之, 細野哲司, 石井(渡部)明子, 内田恵理子, 宇都口直樹^{*}, 渡辺善照^{*}, 早川堯夫: **標的細胞親和性を制御できるファイバーミュータントアデノウイルスベクターの開発 -NGR 配列を付与したアデノウイルスベクターの開発-**

第 17 回日本 DDS 学会 (2001. 7)

^{*} 昭和薬科大学

Mizuguchi, H., Hayakawa, T.: **Fiber-modified adenovirus vectors for Gene Therapy-Enhanced anti-tumor effects and reduced side effects obtained using fiber-modified adenovirus vectors expressing HSVtk and the development of a system for targeting adenovirus vectors-**

第 7 回日本遺伝子治療学会 (2001. 7)

Mizuguchi, H., Hayakawa, T.: **Single adenovirus vector Containing a Tetracycline-Controllable Expression System Allows Regulated Transgene Expression In Vitro and In Vivo -Tet-Off System Shows Higher Regulation Than Tet-On System-**

第 7 回日本遺伝子治療学会 (2001. 7)

Mizuguchi, H., Hayakawa, T.: **Adenovirus vectors containing chimeric type 5 and type 35 fiber proteins exhibit expanded tropism and increase the size limit of foreign genes**

第 7 回日本遺伝子治療学会 (2001. 7)

Hiranuma, T.^{*1}, Watanabe, A.^{*1}, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Matsukura, M.^{*2}, Miike, T.^{*2}, Shimada, T.^{*1}: **Specific gene expression system for vascular smooth muscle cells**

第 7 回日本遺伝子治療学会 (2001. 7)

^{*1} 日本医科大学

^{*2} 熊本大学医学部

早川堯夫: **米国と日本における薬剤開発の現状: 生物薬品の開発の現状**

がん分子標的治療研究会ワークショップ「トランスレーショナルリサーチ: 将来への提言」(2001. 8)

水口裕之, 早川堯夫: **Fiber-modified adenovirus vectors for cancer gene therapy**

第 2 回文部科学省特定領域研究「がん」6 領域若手研究者ワークショップ (2001. 8)

水口裕之, 早川堯夫: **HSVtk 発現ファイバーミュータントアデノウイルスベクターを用いた抗腫瘍効果増強・副作用軽減**

第 60 回日本癌学会総会 (2001. 9)

柴山理恵, 河合 洋, 水口裕之, 川西 徹, 田中 光^{*1}, 田中直子^{*1}, 重信弘毅^{*1}, 中村 竜^{*2}, 早川堯夫: **汎用アルゴンレーザーを励起光源として用いた Yellow Cameleon による細胞内カルシウムイオンの共焦点画像化**

第 10 回日本バイオイメージング学会学術集会 (2001. 10)

^{*1} 東邦大学薬学部

^{*2} カールツァイス

川西 徹: **カルシウムイオンのマイクロダイナミクスの共焦点画像化**

レーザー顕微鏡研究会第 24 回講演会シンポジウム (2001. 10)

川崎ナナ, 配島由二, 太田美矢子, 伊藤さつき, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **LC/MS 及び NMR を用いたエリスロポエチンの硫酸化糖鎖の構造解析**

第 74 回日本生化学会大会 (2001. 10)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 日向昌司, 太田美矢子, 日向須美子, 早川堯夫: **LC/MS 及び LC/MS/MS を用いた組換え型ヒトフォリスチンの糖鎖構造解析**

第 74 回日本生化学会大会 (2001. 10)

日向須美子, 川崎ナナ, 日向昌司, 太田美矢子, 伊藤さつき, 早川堯夫: **BIACOREを用いたガングリオシドGD1aによるHGFシグナル抑制機構の解析**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

日向昌司, 川崎ナナ, 日向須美子, 太田美矢子, 伊藤さつき, 早川堯夫: **GlcNAc転移酵素III遺伝子導入HepG2細胞のHGF誘導細胞分散運動の亢進**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

沢井 勇*, 斎藤芳郎*, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 早川堯夫, 高橋和彦*: **ヒトselenoprotein Pの糖鎖構造解析**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)
*北海道大学薬学部

新見伸吾, 風間宏美*, 稲川雅美*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 日向昌司, 早川堯夫: **MRC-5細胞におけるTPA依存的なHGF産生促進に対するアクチビンの作用**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)
*日本大学生物資源科学部

豊田淑江, 山口照英, 押沢正, 内田恵理子, 早川堯夫: **HL-60細胞の好中球への分化・増殖のコミットメントにおけるPI3K-PKC-p70S6キナーゼ(p70S6K)カスケードの役割**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

水口裕之, 早川堯夫: **遺伝子機能解析に向けた発現制御型アデノウイルスベクターの開発**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

石井(渡部)明子, 内田恵理子, 早川堯夫: **プラスミンによる血小板形態変化の機構について**
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

後藤洋子*¹, 新見伸吾, 早川堯夫, 宮下徳治*²: **ラクトース修飾フィブロインの機能評価—レクチン及び肝細胞との相互作用**
第10回ポリマー材料フォーラム (2001. 11)

*¹ 生物資源研

*² 東北大学多元研

萩山裕之*, 上阪等*, 野々村美紀*, 水口裕之, 早川堯夫, 宮坂信之*: **慢性関節リウマチの遺伝子治療にむけたアデノウイルスベクター改変の試み**
第29回臨床免疫学会 (2001. 12)

*東京医科歯科大学医学部

水口裕之, 早川堯夫: **遺伝子工学的手法によるアデノウイルスベクターの改変—ウイルスベクターのDDS-創剤フォーラム第7回若手研究会 (2001. 12)**

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 鈴木琢雄, 早川堯夫, 中村 竜*: **細胞内小器官に特異的とされる蛍光プローブの評価**

第1回ニューマイクروسコープ研究会 (2001. 12)

*カールツアイス

田中 光*, 川西 徹, 重信弘毅*: **共焦点レーザー顕微鏡を用いた心筋細胞のカルシウムイメージング**
第75回日本薬理学会年会 シンポジウム (2002. 3)

*東邦大学薬学部

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 早川堯夫: **細胞内情報伝達系へのトリブチル錫, メチル水銀, クロルデコンの作用の比較**

第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)

柴山理恵, 河合 洋, 鈴木琢雄, 川西 徹, 早川堯夫: **初代培養肝細胞を用いた細胞内小器官解析用蛍光プローブの比較評価**

第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)

川崎ナナ, 伊藤さつき, 太田美矢子, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **キャピラリーLC/MS及びLC/MS/MSによる微量糖タンパク質糖鎖の構造解析**
日本薬学会122年会 (2002. 3)

太田美矢子, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **LC/MSを用いた糖ペプチドマッピング法による甲状腺刺激ホルモンの部位特異的な糖鎖の不均一性の解析**

日本薬学会122年会 (2002. 3)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 太田美矢子, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **LC/MSを用いたタイプの異なるN-結合型糖鎖の一斉分析**

日本薬学会122年会 (2002. 3)

日向須美子, 川崎ナナ, 日向昌司, 太田美矢子, 伊藤さつき, 早川堯夫: **HGFで誘導されるc-Metにチロシンリン酸化に対するガングリオシドの効果**

日本薬学会122年会 (2002. 3)

日向昌司, 川崎ナナ, 日向須美子, 太田美矢子, 伊藤さつき, 早川堯夫: **GlcNAc転移酵素IIIはHGFシグナル**

を亢進する

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

山口照英, 早川堯夫: バイオテクノロジーを応用した医薬品の品質及び安全性確保の評価科学

PDA 第 9 回年会及び併催シンポジウム, (2001. 11)

山口照英: 細胞・組織利用医薬品・医療用具の品質管理手法について

第 6 回関西バイオコンファレンス, (2002. 3)

櫻井文教, 水口裕之, 小泉直也*, 細野哲司, 石井(渡部)明子, 内田恵理子, 宇都口直樹*, 渡辺善照*, 早川堯夫: ファイバーミュータントアデノウイルスベクターを用いた Caco-2 細胞への遺伝子導入

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

*昭和薬科大学

徐志利*, 水口裕之, 石井(渡部)明子, 内田恵理子, 真弓忠範*, 早川堯夫: 各種転写活性化因子の系統的機能評価 -アデノウイルスベクターにおける検討-

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

*大阪大学大学院薬学研究科

吉川友章*, 山本陽子*, 形山和史*, 吉岡靖雄*, 水口裕之, 早川堯夫, 堤康央*, 中川晋作*, 真弓忠範*: アデノウイルスファイバー領域を提示したファージの構築とそのペプチドライブラリ化

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

*大阪大学大学院薬学研究科

関口文子*, 長谷和明*, 形山和史*, 林哲*, 堤康央*, 中川晋作*, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範*: Polyethylene Glycol を用いたバイオコンジュゲート化アデノウイルスベクターの粒子設計

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

*大阪大学大学院薬学研究科

形山和史*¹, 和田孝一郎*², 中島淳*³, 吉田幸子*³, 立花雅史*¹, 水口裕之, 早川堯夫, 堤康央*¹, 中川晋作*¹, 上崎善規*², 門脇孝*⁴, 永井良三*⁴, 真弓忠範*¹: PPAR γ 発現アデノウイルスベクターによる炎症性腸疾患治療法の開発

日本薬学会 122 年会 (2002. 3)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² 大阪大学大学院歯学研究科

*³ 横浜市立大学医学部

*⁴ 東京大学医学部

小泉直也*, 水口裕之, 細野哲司, 櫻井文教, 石井(渡部)明子, 内田恵理子, 宇都口直樹*, 渡辺善照*, 早川堯夫: 複数のペプチド配列を発現できるファイバーミュータントアデノウイルスベクターの開発

日本薬学会第 17 年会 (2002. 3)

*昭和薬科大学

井上暢子*, 形山和史*, 中川晋作*, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範*: インテグリン指向性ファイバーミュータントアデノウイルスベクターの改良とその評価

日本薬学会第 17 年会 (2002. 3)

*大阪大学大学院薬学研究科

津田育宏*¹, 形山和史*¹, 中山隆志*², 畑中豊*³, 水口裕之, 早川堯夫, 堤康央*¹, 中川晋作*¹, 谷洋一*³, 義江修*², 真弓忠範*¹: Cell Delivery による癌治療の開発 -新規ケモカイン ILC の in vivo における細胞遊走能評価と癌治療への応用-

日本薬学会第 17 年会 (2002. 3)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² 近畿大学医学部

*³ DAKO

高橋亮子*, 魚谷茂雄*, 喜多篤志*, 大島勝也*, 山崎浩則*, 水口裕之, 早川堯夫, 永山雄二*, 山口義彦*, 江口勝美*: エストロゲンによるレプチンシグナルの調節機構

第 45 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2002. 5)

*長崎大学医学部

喜多篤志*, 魚谷茂雄*, 大島勝也*, 山崎浩則*, 水口裕之, 早川堯夫, 永山雄二*, 山口義彦*, 江口勝美*: Orthovanadate によるレプチン依存性 STAT3 リン酸化の増強効果

第 45 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2002. 5)

*長崎大学医学部

山崎浩則*, 大島勝也*, 喜多篤志*, 魚谷茂雄*, 高橋亮子*, 藤田成裕*, 桑原宏永*, 水口裕之, 早川堯夫, 永山雄二*, 山口義彦*, 江口勝美*: レプチンのインスリン信号伝達とレプチンの信号伝達に与える影響

第 45 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2002. 5)

*長崎大学医学部

大島勝也*, 山崎浩則*, 魚谷茂雄*, 喜多篤志*, 高橋亮子*, 藤田成裕*, 桑原宏永*, 水口裕之, 早川堯夫, 永山雄二*, 山口義彦*, 江口勝美*: レプチンのインス

リン遺伝子発現に対する抑制効果

第45回日本糖尿病学会年次学術集会 (2002.5)

*長崎大学医学部

合田幸広：厚生労働省通知の検査方法

組換え体検知技術に関するワークショップ (2001.5)

合田幸広, 穂山 浩, 豊田正武, 柿原芳輝*, 松藤寛*, 千野誠*, 武田明治* : 市販豆腐からの組換え体遺伝子の検知並びに原料ダイズ中の組換え体比率の推定

日本食品化学学会第7回総会・学術大会 (2001.6)

*日本大学生物資源科学部

荒川史博*¹, 小笠原健*¹, 鈴木優子*¹, 小関良宏*², 合田幸広, 豊田正武 : ダイズ加工による遺伝子の断片化と組換え体比率の変化の有無

日本食品化学学会第7回総会・学術大会 (2001.6)

*¹三栄源FFI*²東京農工大学工学部小笠原健*¹, 荒川史博*¹, 鈴木優子*¹, 小関良宏*², 合田幸広, 豊田正武 : 加工によるトウモロコシ中の内部標準遺伝子の減衰

日本食品化学学会第7回総会・学術大会 (2001.6)

*¹三栄源FFI*²東京農工大学工学部

合田幸広：組換え食品の検査方法の現状

第7回天然薬物研究方法論アカデミー (2001.8)

合田幸広：食品及び食品素材の抗アレルギー活性の解析

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

羽田紀康*¹, 佐藤孝治*¹, 大塚功*¹, 竹田忠紘*¹, 佐久嶋順一郎, 合田幸広, 杉田陸海*² : 無脊椎動物由来両性イオン型糖脂質の合成と生物機能

第13回天然薬物の開発と応用シンポジウム

*¹共立薬科大学*²滋賀大学教育学部

合田幸広：遺伝子組換え食品衛生検査指針1

組換えDNA技術応用食品の検査技術研修会 (2002.1)

下村裕子, 関田節子, 合田幸広, 徳川斉正*¹, 徳川真木*¹, 佐竹元吉*² : 徳川家康の薬「烏犀圓」VI

日本生薬学会第48回年会 (2002.3)

*¹水府明徳会彰考館徳川博物館*²日本薬剤師研修センター李宣融, 内山寛*¹, 飯田修, 合田幸広, 牧野由紀子*², 関田節子, 佐竹元吉*³, 小山鐵夫*¹ : 種子導入した世界各地の *Cannabis sativa* L. の特性(6) *Cannabis sativa* L. のDNA量と形態形質との関連性について*¹日本大学生物資源科学部*²関東信越地区麻薬取締官事務所*³日本薬剤師研修センター川原信夫, 中根孝久, 増田和夫*¹, 関田節子, 佐竹元吉*² : ペルー産薬用植物 *Gentiana nitida* の成分研究(4).

日本生薬学会第48回年会, (2001.9)

*¹昭和薬科大学*²日本薬剤師研修センター

川原信夫, 佐竹元吉*, 合田幸広 : ビワヨウの成分研究(1).

日本生薬学会第122回年会, (2002.3)

*日本薬剤師研修センター

袴塚高志*¹, 求野麻里子*¹, 倉田敦代*¹, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉*² : 骨代謝関連遺伝子発現変動活性を有する Cucurbitacin B の細胞骨格系への作用.

日本生薬学会第122回年会, (2002.3)

*¹東京理科大学薬学部*²日本薬剤師研修センター叶英樹*¹, 八百屋さやか*¹, 黒柳正典*¹, 梅原薫*², 川原信夫 : アサガオ毛状根によるフェノール性化合物のグルコシル化.

日本生薬学会第122回年会, (2002.3)

*¹広島県立大学私物資源学部*²静岡県立大学薬学部鎌倉浩之, 関田節子, 伊藤均*¹, 木村勝一*², 平野剛*², 合田幸広, 佐竹元吉*³ : 生薬の滅菌法に関する研究(7)

日本生薬学会第122回年会 (2002.3)

*¹原研高崎研*²三菱電機(株)通信機製作所*³日本薬剤師研修セ

代田 修, Jennifer M. Oribello*, 関田節子, 佐竹元吉 : フィリピン産生薬の成分に関する研究

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*Bureau of Food and Drugs, Department of Health, Republic of the Philippines

代田 修, 中西香爾*, Nina Berova* : ファイトセラミ

D類の分光分析法による立体異性体識別

日本薬学会第122年会 (2002.3)

* Columbia University

上野美穂^{*1}, 鈴木英世^{*1}, 津野敏紀^{*1}, 相楽和彦^{*2}, 平山総良^{*2}, 尾崎幸紘, 佐竹元吉: サイコのメタノール抽出液に対するアンモニア処理について

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*¹ 富山県薬事研究所*² 大正製薬(株)田中理恵, 永津明人^{*1}, 畑野研一郎^{*1}, 水上元^{*1}, 荻原幸夫^{*1}, 榊原仁作^{*1}: Monensin二価誘導体のイオン輸送能とコンフォメーションに関する研究

第43回天然有機化合物討論会 (2001.10)

*¹ 名市大院・薬六鹿元雄, 坂野勇一^{*1}, 田中理恵, 菅沼大行^{*2}, 稲熊隆博^{*2}, 渋谷雅明^{*1}, 海老塚豊^{*1}, 豊田正武, 合田幸広: サトイモ中に含まれるヒト由来ラノステロール合成酵素阻害成分の検討

第13回天然薬物の開発と応用シンポジウム (2001.11)

*¹ 東大院・薬*² カゴメ総研白井直洋^{*1}, 畑野研一郎^{*1}, 田中理恵, 和佐田(筒井)祐子^{*2}, 小田嶋和徳^{*1}: ホモオキサリックス[3]アレーン類によるドーパミン選択的膜電位変化の基礎: 側鎖の種類によるホストゲスト錯体の構造解析

平成13年度日本薬学会東海支部例会 (2001.12)

*¹ 名市大院・薬*² 名市大・システム自然科学田中理恵, 坂野勇一^{*1}, 六鹿元雄, 大本俊郎^{*2}, 加藤喜昭^{*2}, 渋谷雅明^{*1}, 海老塚豊^{*1}, 合田幸広: 食品素材のヒト由来ラノステロール合成酵素阻害活性について

日本薬学会第122回年会 (2002.3)

*¹ 東大院・薬*² 三栄源 FFI小田嶋和徳^{*1}, 白井直洋^{*1}, 田中理恵, 村上由佳^{*1}, 尾作浩司^{*2}, 藤原禎多夫^{*2}, 雨宮成^{*3}: カリックスアレーン類による膜電位選択的分子認識の基礎研究(3) ドーパミン選択的膜電位変化とホストゲスト錯体の構造との関連

日本薬学会第122回年会 (2002.3)

*¹ 名市大院・薬*² 東京薬大・生命*³ 東大・理白井直洋^{*1}, 畑野研一郎^{*1}, 田中理恵, 和佐田(筒井)祐子^{*2}, 小田嶋和徳^{*1}: カリックスアレーン類による膜電位選択的分子認識の基礎研究(4) 非経験的分子軌道法によるホストゲスト錯体の構造解析

日本薬学会第122回年会 (2002.3)

*¹ 名市大院・薬*² 名市大・システム自然科学中村高敏, 合田幸広, 荻原幸夫^{*1}: AUTを用いた一般用漢方処方有用性評価について

日本薬学会第122回年会 (2002.3)

¹ 名古屋市立大市川 明^{}, 土屋利江: 3-Methycholanthrene耐性 Balb 3T3A31-1-1細胞におけるCYP1A1/2発現抑制機構の解析

第14回日本動物細胞工学会 (2001.7)

* 京都工芸繊維大学

Ichikawa, A.^{*}, Tsuchiya, T.: Studies on the suppression of tumorigenesis induced by biomaterials: Reversion of transformed phenotype of biomaterial-derives tumor cells 2001 International gap Junction Conference (2001.8)

* Kyoto Institute of Technology

土屋利江: 新しい生体適合性指標の開発に関する研究: コネキシン機能評価の有用性について

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001.10)

土屋利江, 大庭耕輔^{*}: 医療材料の生物学的試験の標準化に関する研究 (1) 感作性試験: 生食抽出, 綿実油抽出, 有機溶媒抽出物での試験結果の比較

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001.10)

* (財)食品農医薬品安全性評価センター

土屋利江, 松岡厚子: 医療材料の生物学的試験の標準化に関する研究 (2) 細胞毒性試験: コロニー法と Elution Test method (USP) を用いた各種抽出溶液での試験結果の比較

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001.10)

土屋利江, 松岡厚子, 市川 明^{*}: 生物解性高分子ポリ乳酸およびポリウレタン材料上で分離されたBALB/3T3細胞由来形質転換巢のDNAチップを用いる遺伝子発現解析

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001.10)

*京都工芸繊維大学

伊藤 博*, 土屋利江: **HMDIC架橋化コラーゲンの安全性評価: ギャップ結合細胞間連結機能に及ぼす影響を中心として**

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

* (株)高研

鈴木寿子*, 土屋利江, 吉原なみ子*: **ヒト皮膚モデルを用いた HIV-1 および HTLV-1 感染持続細胞の動態に関する研究 (1)**

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

*国立感染症研究所エイズ研究センター

朴 正雄, 土屋利江: **多糖類と増殖因子を利用した血管平滑筋細胞増殖抑制のためのモデル作製**

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

Rahman, M.S., Tsuchiya, T., Ichikawa, A. *: **Studies on the enhancement of mechanical strength and differentiation of human articular chondrocytes**

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

* Kyoto Institute of Technology

市川 明*, 土屋利江: **Balb 3T3A31-1-1細胞由来 3-methylcholanthrene耐性クローンにおけるリガンド依存的 aryl hydrocarbon receptor nuclear translocator 発現抑制**

日本生化学会第74回大会 (2001. 10)

*京都工芸繊維大学

鈴木寿子*, 土屋利江, 吉原なみ子*: **バイオヒト皮膚モデル製品を用いた HIV-1 検出法の検討**

第15回日本エイズ学会学術集会・総会 (2001. 11)

*国立感染症研究所エイズ研究センター

市川 明*, 土屋利江: **ポリウレタンの発癌プロモーター作用機構: ポリウレタンのギャップ結合細胞間連絡阻害要因はコネキシンのチロシン磷酸化である**

2001年度コネキシン研究会 (2001. 12)

*京都工芸繊維大学

朴 正雄, 土屋利江: **コンタクトレンズ用 multi-purpose solution(MPS)の角膜実質細胞に及ぼす影響**

第1回日本再生医療学会総会 (2002. 4)

Rahman, M.S., Tsuchiya, T.: **Enhancement factors of chondrogenic differentiation of the human articular**

chondrocytes using the 3-dimensional scaffold under the dynamic culture condition

第1回日本再生医療学会総会 (2002. 4)

保科定頼*¹, 靄島由二, 松島 肇*²: **新課題医療廃棄物の処理システムの構築に関する研究**

第1回廃棄物処理科学研究シンポジウム (2001. 9)

*¹ 東京慈恵会医科大

*² 浜松医大

靄島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 平田陸正*, 長谷川千恵, 矢上 健: **創傷被覆材におけるエンドトキシン汚染の実態調査**

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

*岩手医科大

林 譲, 松田りえ子, 靄島由二, 長谷川千恵, 矢上 健, 土屋利江: **エンドトキシン試験法の分析バリデーション (1). 測定装置の併行再現性**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

靄島由二, 林 譲, 松田りえ子, 長谷川千恵, 矢上 健, 土屋利江: **エンドトキシン試験法の分析バリデーション (2). リムルス試験の精度予測**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

Kumada, H. *¹, Umemoto, T. *¹, Watanabe, K. *¹, Tamura, H. *², Murai, T., Nakagawa, Y., Tanamoto, K., Haishima, Y.: **Biological properties of the native and synthetic lipid A of Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide**

80th General Session of the International and American Associations for Dental Research (2002. 3)

*¹ 神奈川歯科大

*² 生化学工業

靄島由二, 長谷川千恵: **FUMI理論によるリムルス試験の精度予測**

第75回日本細菌学会総会 (2002. 4)

杉浦真理子*¹, 早川律子*¹, 杉浦啓二*^{1,2}, 社本幹博*², 矢上 健: **ラテックス蛋白は遅延型接触アレルギーを誘発する**

第6回日本ラテックスアレルギー研究会 (2001. 7)

*¹ 名古屋大学医学部

*² 藤田保健衛生大学総合医科学研究所

北川幸己*¹, 藤原英俊*¹, 関川由美*¹, 二木史郎*², 矢上 健: **2-クロロトリチル樹脂の特性を活用した大分**

子型硫酸化ペプチドの合成

第27回反応と合成の進歩シンポジウム (2001. 11)

*1 新潟薬科大学

*2 京都大学化学研究所

秋元留理*, 三嶋絵美*, 知念多恵子*, 阿部典子*, 鷺崎久美子*, 関東裕美*, 伊藤正俊*, 鹿庭正昭: ゴム膝ベルトによる接触皮膚炎の1例

第31回日本皮膚アレルギー学会 (2001. 7)

* 東邦大学医学部大森病院皮膚科

鹿庭正昭, 五十嵐良明: プラスチック製めがね部品によるアレルギー性接触皮膚炎の原因究明: 染料アレルギー C.I. Solvent Orange 60 および C.I. Solvent Red 179

第38回全国衛生化学技術協議会 (2001. 11)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: プラスチック製めがね部品における染料アレルギーの使用実態と交差アレルギー性に関する考察

第26日本接触皮膚炎学会 (2001. 12)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 鎌田栄一: ホルムアルデヒドとパラジクロロベンゼン併用吸入暴露の毒性学のおよび免疫学的影響

第38回全国衛生化学技術協議会 (2001. 11)

Wakata, A. *1, Araki, H. *1, Hamada, S. *2, Kubo, K. *2, Matsui, A. *2, Matsuoka, A., Miura, M. *2, Miyajima, H. *2, Nishida, S. *2, Ozawa, S. *2, Senjyu, N. *2, Yamakage, K. *3, Yamamura, E. *2, Yoshida, J. *2: A SFTG collaborative international study on in vitro micronucleus test: Results in CHL/IU cells

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*1 Yamanouchi Pharmaceutical Co. Ltd.

*2 Genotoxicity Working Group of Japan Pharmaceutical Manufacturers Association

*3 Food and Drug Safety Center

Sofuni, T. *1, Hayashi, M., Matsuoka, A., Ishidate, M. Jr. *2, Miura, K.F. *1, Shimizu, H. *3, Suzuki, Y. *3, Morimoto, K. *4, Mure, K. *4, Koshi, K. *5, Matsushima, T. *6: Micronucleus induction vs. chromosome aberration induction: Japanese MOL collaborative study using CHL/IU cells

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*1 Olympus Optical Co. Ltd.

*2 Chemical Safety Evaluation Center

*3 The Jikei University School of Medicine

*4 Osaka University School of Medicine

*5 National Institute of Industrial Health

*6 Japan Bioassay Research Center

Matsuoka A., Furuta, A. *1, Ozaki, M. *1, Takeshita, K. *2, Fukuhara, K., Miyata, N.: Structure-activity relationships among resveratrol and its analogues in cytogenetic activity 8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*1 BOZO Research Center Inc.

*2 Ube Scientific Analysis Laboratory, Inc.

Ohe, T. *1, Takata, T. *1, Maeda, Y. *1, Totsuka, Y. *2, Wakabayashi, K. *2, Matsuoka, A.: SCEs and chromosome aberrations in cultured mammalian cells induced by aminophenylnorharman formed by coupling of norharman and aniline

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*1 Kyoto Women's University

*2 National Cancer Center Research Institute

伊佐間和郎, 土屋利江: 金属塩の正常ヒト骨芽細胞の増殖及び分化に及ぼす影響

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

中岡竜介, 土屋利江: 種々の微粒子状物質によるヒト骨芽細胞の骨分化への影響と細胞間連絡機能との関連

第23回日本バイオマテリアル学会大会 (2001. 10)

新谷英晴: 医療機関と損傷菌, 貧栄養菌, 院内感染菌 日本防菌防黴学会秋季学術シンポジウム2001 (2001. 10)

新谷英晴: 滅菌, 殺菌操作で損傷を受ける菌の現状と微生物試験への影響

日本防菌防黴学会2001年度合同大会 (2001. 11)

新谷英晴: ガンマ線滅菌による医療用具素材の分解 第30回防菌防黴学会 (2002. 5)

佐藤道夫: 医療用具関連データベースの作成 (2) 第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001. 11)

埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 澤田純一: SN-38のグルクロン酸抱合に関与するUGT分子種とその役割 第16回日本薬物動態学会年会 (2001. 10)

徳永裕司, 高 玲華, 内野 正, 安藤正典: 化粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究: ピチオノールおよびジクロロフェン

第48回日本化粧品技術者会研究討論会 (2001. 6)

徳永裕司, 高 玲華, 内野 正, 安藤正典: 化粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究: ピチオノールおよびジクロロフェン

第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001. 11)

H.Tokunaga, T.Roychowdhury, T.Uchino, M.Ando: Evaluation for the total exposure of arsenic in arsenic-affected area of West Bengal, India-Determination of arsenic species in human urines,

10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan(2001. 11).

T.Roychowdhury, T.Uchino, H.Tokunaga, M.Ando: Arsenic and other heavy metals in soils and food stuffs from an arsenic-affected district of West Bengal, India

10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan(2001. 11).

徳永裕司, 森 謙一郎*¹, 野坂富雄*², 土井佳代*³, 坂口 洋*⁴, 藤井まき子*⁵, 高野勝弘*⁶, 林 正人*⁷, 磯敏明*⁸, 西尾裕幸*⁹, 佐藤信夫*¹⁰: 化粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究: resorcin, phenylsalicylate, phenoxyethanol及び2-(2-hydroxy-5-methylphenyl)benzotriazol

日本薬学会第122回年会 (2002. 3)

*¹ 都衛研

*² 埼玉衛研

*³ 神奈川衛研

*⁴ 北里大理学部

*⁵ 昭和薬大

*⁶ 粧工連

*⁷ 資生堂

*⁸ ポーラ

*⁹ カネボウ

*¹⁰ コーセー

徳永裕司, 高 玲華, 内野 正, 安藤正典: RBL-2H3細胞の脱顆粒を用いた化粧品等に用いられる化学物質のアレルゲン性評価に関する研究

日本薬学会第122回年会 (2002.3)

内野 正: 生体試料中のPCOOH, PEOOH及びSQOOH

のCL-HPLC法による分析

第12回CL技術研究会 (2001. 6)

T.Uchino, T.Roychowdhury, H.Tokunaga, M.Ando: Evaluation for the total exposure of arsenic in arsenic-affected area of West Bengal, India: Arsenic and other elements in tube wells, human urine and hair

10th International Symposium on Natural and Industrial Arsenic Japan(2001. 11).

内野 正, 徳永裕司, 安藤正典: ヒトケラチノサイト(A431)からのサイトカイン(IL-1 β , IL-4)放出を指標とした接触皮膚炎の*in vitro*評価法

日本薬学会第122回年会 (2002. 3)

鈴木玲央*¹, 西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 安藤正典, 武田健*¹, 黒瀬光一*², 足立直樹*²: アフリカツメガエルの発生期におけるエストロゲン様物質の影響

第7回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同発表会 (2001. 8)

*¹ 東京理科大学

*² 国立公衆衛生院

岡知宏*^{1,2}, 足立直樹*¹, 林香織*³, 伊藤弓弦*³, 田代康介*³, 西村哲治, 佐久間慶子*², 黒瀬光一*¹: ビスフェノールAがツメガエル初期発生過程に及ぼす影響—マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析—

第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

*¹ 国立公衆衛生院

*² 女子栄養大学

*³ 九州大学

西村哲治, 泉貴子*¹, 吉田ひろみ, 埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 安藤正典: 遺伝子組換え細胞を用いた環境有害物質の評価(Ⅲ)

第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001. 11)

*¹ 東京医薬専門学

Nishimura, T.: Environmental Assessment and Bioassay Environmental

SETAC; Asia Pacific Symposium 2001 (2001. 11)

足立直樹*¹, 岡知宏*^{1,2}, 林香織*³, 伊藤弓弦*³, 田代康介*³, 西村哲治, 黒瀬光一*¹: 発生期におけるエストロラジオール処理によって発現量に影響を受けるレクチン様遺伝子などの同定

第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

*1 国立公衆衛生院

*2 女子栄養大学

*3 九州大学

鈴木玲央*1, 吉田ひろみ, 埴岡伸光, 神野透人, 安藤正典, 黒瀬光一*2, 足立直樹*2, 武田健*1, 西村哲治:
アフリカツメガエルの発生期におけるエストロゲン様物質の影響

第122回日本薬学会 (2002. 3)

*1 東京理科大学

*2 国立公衆衛生院

森康明*1, 内海英雄*2, 大橋則雄*3, 鈴木俊也*3, 中室克彦*4, 西村哲治, 広瀬義文*5, 深澤喜延*6, 吹野秀亀*7:
環境試験法, 水質試験法, 多環芳香族炭化水素類 (PAHs)

第122回日本薬学会 (2002. 3)

*1 神奈川県衛生研究所

*2 九州大学

*3 東京都立衛生研究所

*4 摂南大学

*5 埼玉県衛生研究所

*6 山梨県公害衛生研究所

*7 元神奈川県環境センター

西村哲治, 内海英雄*1, 大橋則雄*2, 鈴木俊也*2, 中室克彦*3, 広瀬義文*4, 深澤喜延*5, 吹野秀亀*6, 森康明*7:
環境試験法, 水質試験法, 1,4-ジオキサン

第122回日本薬学会 (2002. 3)

*1 九州大学

*2 東京都立衛生研究所

*3 摂南大学

*4 埼玉県衛生研究所

*5 山梨県公害衛生研究所

*6 元神奈川県環境センター

*7 神奈川県衛生研究所

神野透人, 埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典:
1,4-Dioxaneによるラット肝細胞薬物代謝酵素の誘導

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

香川(田中)聡子, 神野透人, 埴岡伸光, 安藤正典:
TaqMan MGBプローブを用いたアトピー性疾患関連遺伝子SNPsの簡易検出法

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

佐々木久美子: 食品中残留農薬の一斉分析について

第24回農薬残留分析研究会 (2001. 10)

佐々木久美子: 農薬残留基準の設定と Total diet study による化学物質摂取量調査

日本農薬学会第27回大会 (2002. 4)

Fujino, J.*, Tsutsumi, T., Amakura, Y., Nakamura, M.*, Kitagawa, H.*, Yamamoto, T.*, Sasaki, K., Toyoda, M.:
Application of the CALUX™ assay to the analysis of DXNs in fish (The First Report)

21th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPS (2001. 9)

* Hiyoshi Corporation

堤 智昭, 天倉吉章, 中村昌文*1, 藤野潤子*1, 北川宏子*1, Brown, D. J.*2, Clark, G. C.*2, 佐々木久美子, 豊田正武: CALUX バイオアッセイによる市販魚中ダイオキシン類のスクリーニング法の開発

第4回環境ホルモン学会 (2001. 12)

*1 株式会社日吉

*2 Xenobiotic Detection Systems Inc.

伊東秀之*, Isaza, J. H.*, 天倉吉章, 吉田隆志*: ノボタン科植物のエラジタンニンオリゴマーの構造

第43回天然有機化合物討論会 (2001. 10)

*岡山大学

天倉吉章, 堤 智昭, 中村昌文*1, 北川宏子*1, 藤野潤子*1, 佐々木久美子, 吉田隆志*2, 豊田正武: ダイオキシンによるアリル炭化水素レセプターの活性化に対する食品の抑制効果

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

*1 株式会社日吉

*2 岡山大学

天倉吉章, 堤 智昭, 佐々木久美子, 豊田正武: 食品中のダイオキシン分析における前処理法の比較

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002. 5)

小谷明*, 林譲, 松田りえ子, 楠文代*: 定量精度に基づく電気化学検出 HPLC システムの最適化

第62回分析化学討論会 (2001. 6)

*東京薬科大学

小谷明*, 林譲, 松田りえ子, 楠文代*: 測定精度予測に基づく電気化学検出 HPLC システムの最適化

第14回バイオメディカル分析化学シンポジウム (2001. 7)

*東京薬科大学

Matsuda, R. : **Uncertainty of instrumental measurement: a stochastic approach**
 ICAS2001 (2001. 8)

林譲, 松田りえ子, 伊藤克敏*, 前田昌子* : **酵素反応を用いた分析精度の基礎的検討**
 日本分析化学会第50年会 (2001. 11)

*昭和大学

松田りえ子, 林譲 : **FUMI理論により推定したピーク面積の標準偏差の信頼性について**
 日本分析化学会第50年会 (2001. 11)

小谷明*, 林譲, 松田りえ子, 楠文代* : **計量化学的手法による電気化学検出HPLCシステム及び測定条件の最適化**
 第47回電気分析化学およびポーラログラフィ学会(2001. 12)

*東京薬科大学

植田泰輔*, 岩上猛*, 木村良夫*, 森本副吉*, 林譲, 松田りえ子 : **FUMI理論を適用した品質管理技術**
 第7回LCテクノプラザ (2002. 2)

*林純薬工業

松田りえ子, 林譲 : **クロマトグラムの積分方法の真度・精度への影響**
 日本薬学会第122年会 (2002. 3)

小谷明*, 林譲, 松田りえ子, 楠文代* : **電気化学検出HPLCの測定条件最適化におけるFUMI理論による分析精度と分析効率の解析**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

*東京薬科大学

北原進一*, 石塚恒雄*, 吉光寺敏泰*, 松田りえ子, 林譲 : **粉末X線回折測定におけるFUMI理論の応用**
 日本薬剤学会第17年会 (2002. 3)

*明治製菓

杉山英男*¹, 出雲義明*¹, 樋口英雄*², 河村日佐男*³, 平井保夫*⁴, 松浦賢一*⁵, 村山三徳, 高橋知之*⁶ : **原子力緊急時における食品の放射能測定と安全性評価**
 日本公衆衛生学会台9回総会 (2001. 11)

*¹ 国立公衆衛生院

*² 財・日本分析センター

*³ 放射線医学総合研究所

*⁴ 茨城県生活環境部

*⁵ 財・原子力安全技術センター

*⁶ 京都大学原子炉実験所

穂山浩 : **食物アレルギー表示に伴う特定原材料検出法について**

日本食品保全研究会シンポジウム (2002. 3)

穂山浩, 松本美佐緒, 杉本和恵, 合田幸広, 豊田正武, 梶原淳睦*¹, 紀雅美*², 中間昭彦*², 富岡千鶴子*³, 日野明寛*⁴, 松岡猛*⁵ : **リアルタイムPCRによる遺伝子組換え食品の定量分析について—ライトサイクラーシステムへの適用—**

第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001. 11)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 大阪市環境科学科研究所

*³ 群馬県衛生研究所

*⁴ 食品総合研究所

*⁵ 農林水産消費技術センター

穂山浩 : **食の安全性を取りまく諸問題に関する最近の知見と動向「遺伝子組換え食品の検知について」**

日本食品衛生学会特別シンポジウム (2002. 2)

穂山浩, 和久井千世子, 渡邊敬浩, 三浦嘉巳, 合田幸広, 豊田正武, 吉村倫彰*¹, 紀雅美*², 山本敦史*², 富岡千鶴子*³, 日野明寛*⁴, 酒井栄一*⁵, 松岡猛*⁶, 布藤聡*⁷, 小川真智子*⁷, 梶原淳睦*⁸ : **マイクロキャピラリー型リアルタイムPCRシステムによる遺伝子組換え食品の定量分析について**

日本薬学会122年会 (2002. 3)

*¹ アサヒビール

*² 大阪市環境科学環境研究所

*³ 群馬県衛生環境研究所

*⁴ 食品総合研究所

*⁵ 日本遺伝子研究所

*⁶ 農林水産消費技術センター

*⁷ ファスマック

*⁸ 福岡県保健環境研究所

穂山浩 : **遺伝子組換え食品の検知法**

日本薬学会第122年会ミニシンポジウム (2002. 3)

穂山浩, 松本美佐緒, 杉本和恵, 合田幸広, 豊田正武, 渋谷雅明*¹ : **安全性未承認遺伝子組換えジャガイモ(NewLeaf Plus 及びNewLeaf Y)からの組換え遺伝子の検知法の確立とスナック菓子からの検知**

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.10)

*1 東京大学大学院薬学系研究科

古庄義明*1, 矢尾 裕彦*2, 真次 由紀子*3, 穂山 浩,
豊田正武, 庄司 俊彦*4: **96-Well SPE/LC/MS/MSによるマウス血清中Procyanidin B2の測定**

日本薬学会122年会 (2002.3)

*1 ジーエルサイエンス(株)

*2 ABシステム(株)

*3 千葉大学薬学部

*4 アサヒビール(株)

庄司俊彦*1, 神田智正*1, 穂山浩, 佐久島順一郎, 安江
正明*1, 中川圭一*1, 豊田正武, 合田幸広: **リンゴ由来
プロシアニジン類の吸収動態**

日本農芸化学会2002年大会 (2002.3)

*1 アサヒビール未来研

酒井信夫*, 穂山浩, 豊田英尚*, 戸井田俊彦*, 今成登
志男*, 豊田正武: **コンドロイチン硫酸のOVA感作マ
ウス碑細胞に及ぼす影響**

日本薬学会122年会 (2002.3)

*千葉大学薬学部

渡邊敬浩, 張替直輝, 和久井千世子, 穂山浩, 豊田正武,
布藤聡*1, 小川真智子*1, 千葉良子*1: **PCR法を用い
た食品中の特定原材料(落花生)検知法について**

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

*1(株)ファスマック

*2 昭和薬科大学

和久井千世子, 渡邊敬浩, 三浦嘉巳, 穂山浩, 豊田正武,
吉村倫彰*1, 紀雅美*2, 山本敦史*2, 富岡千鶴子*3, 日
野明寛*4, 酒井栄一*5, 松岡猛*6, 布藤聡*7, 小川真智
子*7, 梶原淳陸*8, 島津光伸*9: **マイクロキャピラリー
型リアルタイムPCRシステムによる遺伝子組換えトウ
モロコシ及びダイズの定量法**

日本食品衛生学会第84回学術講演会 (2002.5)

*1 アサヒビール

*2 大阪市環境科学科研究所

*3 群馬県衛生研究所

*4 食品総合研究所

*5 日本遺伝子研究所

*6 農林水産消費技術センター

*7 ファスマック

*8 福岡県保健環境研究所

*9 三菱ビーシーエル

日野明寛*1, 一色賢司*1, 吉村倫彰*2, 布藤聡*3, 松岡
猛*4, 栗原秀夫*5, 穂山浩, 合田幸広: **トウモロコシ内
在性遺伝子検出領域変更による加工食品中のGMOの定
量**

日本食品衛生学会第84回学術講演会 (2002.5)

*1 食総研

*2 アサヒビール

*3 ファスマック

*4 農水省消技セ

宮原 誠, 後藤典子*, 田邊寛子*: **電子線を照射した
牛挽肉の化学的検知法**

理工学における同位元素, 放射線研究発表会 第38回
大会 (2001.7)

*東京都産業技術研究所 駒沢放射線利用施設

Makoto Miyahara, Hitoshi Ito*, Koji Ueno**, Yutaka
Yamase**, Masatake Toyoda: **Evaluation of Several
Dosimeters Using 5 MeV Electron Beam. Fundamentals
for Identification of Irradiated Foods. Electron beam
The 115th Annual AOAC International Meeting and
Exposition (2001.9)**

*Japan Atomic Energy Research Institute Takasaki
Establishment

** Japan Irradiation Service Co.

宮原 誠, 齊藤顕子*, 長沢妙子*, 豊田正武: **シクロ
ブタン法による照射食品の検知 基礎的検討**

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.10)

*北里大学 医療衛生学部

宮原 誠: **検知法の開発と実用利用の現状**
第9回放射線プロセスシンポジウム (2001.12)

杉本直樹, 佐藤恭子, 山崎 壮, 米谷民雄, 青木宏光*,
市 隆人*, 香田隆俊*: **Acid stable carmine (耐酸性コ
チニール)の化学構造**

日本食品化学学会第7回学術大会 (2001.6)

*三栄源エフ・エフ・アイ(株)

菊地博之*, 杉本直樹, 井上かおり*, 千野口誠*, 松藤
寛*, 武田明治*, 山崎 壮, 米谷民雄: **テンリョウチ
ャ抽出物の成分分析**

日本食品化学学会第7回学術大会 (2001.6)

*日本大学生物資源科学部

千野 誠*, 佐藤恭子, 米谷民雄: **日持向上剤ホコッシ
抽出物の含有成分と食品中分析法について**

日本食品化学学会第7回学術大会(2001.6)

*日本大学生物資源科学部

宇野喜貴*, 大本俊郎*, 後藤康慶*, 浅井以和夫*, 中村幹雄*, 米谷民雄: **GCP/ICP-AES法によるミルクプリン中のカラギナン分析方法**

日本食品化学学会第7回学術大会(2001.6)

*三栄源エフ・エフ・アイ(株)

長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **HPLC/高分解能ICP-MS法を用いた健常人血清におけるAIの存在状態の解析**

第62回分析化学討論会(2001.6)

杉田たき子, 松田りえ子, 河村葉子, 米谷民雄, 谷村雅子*¹, 新野竜大*², 石橋 亨*², 平林尚之*³, 松木容彦*³: **軟質PVC製玩具からのフタル酸エステル溶出と乳幼児のmouthing行動**

日本食品衛生学会第82回学術講演会(2001.10)

*¹ 国立小児病院

*² 東京顕微鏡院

*³ 食品薬品安全センター

阿部有希子, 杉田たき子, 和久井千世子, 石綿 肇, 米谷民雄: **軟質PVC製玩具中の可塑剤の調査—H10年度調査結果との比較—**

日本食品衛生学会第82回学術講演会(2001.10)

和久井千世子, 河村葉子, 米谷民雄: **ヘッドスペース法によるプラスチック中の揮発性物質の分析**

日本食品衛生学会第82回学術講演会(2001.10)

新野竜大*¹, 石橋 亨*¹, 伊藤 武*¹, 坂井千三*¹, 杉田たき子, 石綿 肇, 山田 隆*², 小野寺祐夫*³: **ヒト唾液中におけるフタル酸ジエステルのモノエステル体生成に関する研究**

フォーラム2001, 衛生薬学・環境トキシコロジー(2001.10)

*¹ 東京顕微鏡院

*² 日本食品添加物協会

*³ 東京理科大学

川崎洋子, 久保田浩樹, 濃野正典*, 石綿 肇, 米谷民雄: **魚肉中の一酸化炭素の分析法**

第38回全国衛生化学技術協議会年会(2001.10)

*横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター

米谷民雄, 佐藤兼章*¹, 磯村公郎*², 渡辺 均*³, 手島玲子, 杉山英男*⁴, 池淵秀治*⁵, 佐治英郎*⁶: **放射性物**

質試験法 ICP/質量分析法によるウランの定量

日本薬学会第122年会(2002.3)

*¹ 日本分析センター

*² 兵庫県立衛生研究所

*³ 核燃料サイクル開発機構

*⁴ 国立公衆衛生院

*⁵ 日本アイソトープ協会

*⁶ 京都大学大学院薬学系研究科

六鹿元雄, 和久井千世子, 河村葉子, 米谷民雄: **ニトリルゴム製手袋からの溶出物の検討**

日本薬学会第122年会(2002.3)

六鹿元雄, 渡辺悠二*, 河村葉子, 米谷民雄: **ポリ塩化ビニル中のクレゾールリン酸エステルの直接分析法**

日本食品衛生学会第83回学術講演会(2002.5)

* (財)化学技術戦略推進機構

小川裕子, 河村葉子, 米谷民雄: **ノニルフェノール及びアジピン酸エステル類のポリ塩化ビニル製ラップフィルムから食品への移行に関する検討**

日本食品衛生学会第83回学術講演会(2002.5)

棚元憲一: **局方微生物試験法の現状, 国際調和と将来展望—第14改正日本薬局方を中心として—**

日本防菌防黴学会主催「第17回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム(2002.3)

棚元憲一: **一般試験法(生物試験法について)**

公定書協会主催「第十四改正局日本薬局方について」の研修会(2001.5)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一: **エンドトキシンの情報伝達におけるMD-2分子上のグリコシル化の役割**

第7回日本エンドトキシン研究会(2001.11)

室井正志, 棚元憲一: **サルモネラリピドAの動物種特異的反応の分子機構: MD-2の関与**

第7回日本エンドトキシン研究会(2001.11)

室井正志, 大西貴弘, 棚元憲一: **大腸菌およびサルモネラ由来のLPSに含まれるTLR2刺激活性を持つLPS様物質**

第75回日本細菌学会総会(2002.4)

室井正志, 棚元憲一: **サルモネラLPSのヒトTLR4活性化における糖鎖部分の関与**

第75回日本細菌学会総会(2002.4)

洪志駿, 室井正志, 大西貴弘, 黛(安住)聡子, 棚元憲一: **内毒素によるマクロファージからの一酸化窒素産生に与える内分泌かく乱物質の影響**

第75回日本細菌学会総会 (2002.4)

滝本博明, 若林靖貴, 矢野郁也, 室井正志, 熊沢義雄: **Trehalose 6, 6'-dimycolate (TDM) はTLR2を介してシグナルを伝達する**

第75回日本細菌学会総会 (2002.4)

宮原美知子, 小沼博隆, 増田高志^{*1}, 金子誠二^{*2}, 斉藤章暢^{*3}, 正木宏幸^{*3}, 後藤公吉^{*4}, 仁科徳啓^{*5}: **ほうれん草でのサルモネラ増殖動態**

第22回日本食品微生物学会 (2001.10)

^{*1} 静岡環境衛生科学研究所

^{*2} 東京都立衛生研究所

^{*3} 埼玉衛生研究所

^{*4} 新潟県食肉衛生検査所

^{*5} 東海大学短期大学部静岡校

増田高志^{*1}, 秋山真人^{*1}, 金子誠二^{*2}, 斉藤章暢^{*3}, 正木宏幸^{*3}, 後藤公吉^{*4}, 仁科徳啓^{*5}, 宮原美知子, 小沼博隆: **野菜汚染病原菌の野菜洗い水等における増殖態度**

第22回日本食品微生物学会 (2001.10)

^{*1} 静岡環境衛生科学研究所

^{*2} 東京都立衛生研究所

^{*3} 埼玉衛生研究所

^{*4} 新潟県食肉衛生検査所

^{*5} 東海大学短期大学部静岡校

長谷川順子^{*}, 仁科徳啓^{*}, 宮原美知子, 小沼博隆: **野菜および野菜洗い液中における汚染微生物の除菌方法に関する検討**

第22回日本食品微生物学会 (2001.10)

^{*} 東海大学短期大学部静岡校

宮原美知子, 小沼博隆, 熊谷進^{*}: **Salmonella Enteritidisの卵における増殖について**

日本食品衛生学会第82回学術講演会 (2001.10)

^{*} 東京大学院農生命

斉藤章暢^{*1}, 工藤由起子^{*2}, 杉山寛治^{*3}, 仁科徳啓^{*4}, 長谷川順子^{*4}, 中川弘^{*5}, 市原智^{*6}, 宮原美知子, 小沼博隆, 熊谷進^{*7}: **免疫磁気ビーズとクロモアガービブリオ培地による貝からの腸炎ビブリオO3:K6の検出**

日本食品衛生学会第82回学術講演会 (2001.10)

^{*1} 埼玉衛生研究所

^{*2} 国立感染症研究所

^{*3} 静岡環境衛生科学研究所

^{*4} 東海大学短期大学部静岡校

^{*5} 財団法人東京顕微鏡院

^{*6} 東京サラヤ株式会社

^{*7} 東京大学院農生命

宮原美知子, 小沼博隆: **貝類から検出した腸炎ビブリオ耐熱性溶血毒**

分子生物学会第24回年会 (2001.12)

宮原美知子, 小沼博隆: **腸炎ビブリオ耐熱性溶血毒の産生に及ぼす要因**

第75回日本細菌学会総会 (2002.4)

宮原美知子, 小沼博隆: **各種検出分離寒天平板培地におけるShigella sonnei集落の生育性状**

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

杉山寛治^{*1}, 大友良光^{*2}, 八柳潤^{*3}, 斉藤章暢^{*4}, 長野英俊^{*5}, 中川弘^{*6}, 仁科徳啓^{*7}, Ashrafuzzaman Chowdhury^{*8}, 西渕光昭^{*8}, 宮原美知子, 小沼博隆, 工藤由起子^{*9}, 熊谷進^{*10}: **国内産魚介類の腸炎ビブリオ汚染実態**

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

^{*1} 静岡環境衛生科学研究所

^{*2} 青森県環境保険センター国立感染症研究所

^{*3} 秋田県衛生科学研究所

^{*4} 埼玉県衛生研究所

^{*5} 福岡県保険環境研究所

^{*6} 財団法人東京顕微鏡院

^{*7} 東海大学短期大学部静岡校

^{*8} 京都大学

^{*9} 国立感染症研究所

^{*10} 東京大学院農生命

長谷川順子^{*}, 仁科徳啓^{*}, 宮原美知子, 小沼博隆: **自動pH調整塩素水による野菜の除菌効果**

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

^{*} 東海大学短期大学部静岡校

宮原美知子, 小沼博隆: **輸入冷凍生カキから赤痢ソネ菌の検出**

日本防菌防黴学会第29回年次大会 (2002.5)

工藤由起子: **殻付卵および液卵からのSalmonella Enteritidisの検出方法**

第131回日本獣医学会 (2000.4)

工藤由起子：凍結食品における損傷菌とその検出

日本防菌防黴学会秋季学術シンポジウム2001「微生物制御におけるVNC（培養不能生存）菌と損傷菌の問題」
(2000.10)

工藤由起子，仁科徳啓^{*1}，中川弘^{*2}，小沼博隆，熊谷進^{*3}：二段階増菌方法および酵素基質培地を用いた腸炎ビブリオの検出方法の検討

第22回日本食品微生物学会 (2000.10)

^{*1} 東海大短大

^{*2} (財)東京顕微鏡院

^{*3} 東京大学大学院

堀坂知子^{*1}，熊谷進^{*2}，川澄俊之^{*1}，工藤由起子：食品からの腸炎ビブリオ耐熱性溶血毒遺伝子検出のためのPCR法の改良

第131回日本獣医学会 (2000.4)

^{*1} 日本女子大学家政学部

^{*2} 東京大学大学院

梶谷英子^{*1}，林谷秀樹^{*1}，Okatani A.Tomomitsu^{*1}，工藤由起子，熊谷進^{*2}，金子賢一^{*1}：損傷を受けた病原性 *Yersinia enterocolitica* の免疫磁気ビーズ法による分離

第131回日本獣医学会 (2000.4)

^{*1} 東京農工大学農学部

^{*2} 東京大学大学院

S. Kumagai,^{*1} Y. Sugita-Konishi, F. Kasuga, Y. Ito and Y. Hara-Kudo: Control of *Escherichia coli* O157:H7 Contamination in Food: Sprout as an Example

11th World Congress of Food Science and Technology (2000.4)

^{*1} 東京大学大学院

佐伯和美^{*1}，木下寿和奈^{*1}，Okatani A. Tomomitsu^{*1}，堀北哲也^{*1}，堀坂知子^{*1}，工藤由起子，熊谷進^{*2}，金子賢一^{*1}，林谷秀樹^{*1}：病原性 *Yersinia enterocolitica* の熱抵抗性に関する研究

第132回日本獣医学会 (2000.10)

^{*1} 東京農工大学農学部

^{*2} 東京大学大学院

大河内美穂^{*1}，平山和宏^{*1}，工藤由起子，熊谷進^{*1}：腸炎ビブリオの低浸透圧抵抗性

第22回日本食品微生物学会 (2000.10)

^{*1} 東京大学大学院

山崎亜希子^{*1}，葉袋裕二^{*1}，芳賀実^{*1}，大久保勉^{*2}，工藤由起子：カテキンの腸炎ビブリオおよび芽胞形成細菌に対する抗菌活性

第133回日本獣医学会 (2001.4)

^{*1} 玉川大学農学部

^{*2} (株)太陽化学

酒井美穂^{*1}，仁科徳啓^{*2}，熊谷進^{*3}，川澄俊之^{*1}，工藤由起子：耐熱性溶血毒素産生性腸炎ビブリオのコロニー形態変化とその増殖性

第133回日本獣医学会 (2001.3)

^{*1} 日本女子大学家政学部

^{*2} 東海大短大

^{*3} 東京大学大学院

松谷佐知子：RNAポリメラーゼⅢのプロモーター配列に作用する細菌転写因子

第24回日本分子生物学会年会 (2001.12)

酒井綾子，謝 春，吉川邦衛^{*}，棚元憲一：BALB/3T3細胞においてTPAとオカダ酸によって共通して発現が変化する遺伝子

日本薬学会122年会 (2002.3)

^{*} 東京農業大学

酒井綾子：BALB/3T3細胞形質転換試験における *Np95* 遺伝子の発現上昇と細胞増殖

日本薬学会122年会 (2002.3)

篠田美玲^{*1}，天野富美夫^{*2}，小西良子，中野有美子^{*2}，清水誠^{*1}：ベロ毒素 (VT-1) のVero細胞への結合とタンパク合成阻害におよぼすGb3 liposomeの調節機構について

第43回 日本脂質生化学研究会 (2001.6)

^{*1} 東京大学大学院 農学生命科学

^{*2} 国立感染症研究所

志村純子^{*1}，鈴木嘉彦^{*1}，西川朝^{*1}，天野富美夫^{*2}，小西良子：非特異的生体防御システムにおよぼすビスフェノールの影響

第8回 日本免疫毒性学会大会 (2001.9)

^{*1} 麻布大学獣医学部

^{*2} 大坂薬科大学 薬学部

小西良子，志村純子^{*1}，鈴木嘉彦^{*1}，天野富美夫^{*2}，杉浦義紹^{*3}：非特異的生体防御システムにおよぼすビスフェノールの影響

第8回 日本免疫毒性学会大会 (2001.9)

*1 麻布大学獣医学部

*2 大坂薬科大学 薬学部

*3 神戸市環境保健研究所

Kanayama, A.*¹, Shimizu, M.*¹, Sugita-Konishi, Y., Inoue, J.*¹ and Miyamoto, Y.*¹: **Taurine Is Involved in Chlorination and Met45 Oxidation of IkappaBalpha and Consequent Inhibition of NFkappaB Activation in Neutrophils**

The American Society for Cell Biology 41th Annual Meeting (2001. 12)

*1 東京大学大学院 農学生命科学

Sugita-Konishi, Y., Amano, F.*¹ and Sugiura, Y.*²: **The effect of tributyltin on microbial infections of mice**
Society of Toxicology 41st Annual Meeting (2002. 3)

*1 大坂薬科大学 薬学部

*2 神戸市環境保健研究所

小松恵美*¹, 葉袋裕二*¹, 芳賀実*¹, 山本茂貴, 小西良子: **トリブチルスズの次世代への免疫毒性について**
日本農芸化学会大会 (2002. 3)

*1 玉川大学

塚崎 匡*¹, 薩 秀雄*¹, 小西良子, 清水 誠*¹: **トリブチルスズが腸管上皮細胞 Caco-2 の機能に与える影響**
日本農芸化学会大会 (2002. 3)

*1 東京大学大学院 農学生命科学

武木田薫*¹, 谷村顕雄*¹, 菊池裕, 山崎壮, 高鳥浩介, 棚元憲一, 澤田純一, 品川森一*²: **抗ウシ・プリオンペプチド抗体を用いた食品中のプリオン蛋白質検出法の開発**

日本食品衛生学会第82回学術講演会 (2001. 10)

*1 昭和女子大

*2 帯広畜産大

奥田晴宏: **ICH M4 CTD (品質分野) における国内対応の方針**

日本PDA第9回年会併催シンポジウム (2001. 11)

奥田晴宏, 荒戸照世, 小笠原弘道, 鹿野真弓, 嶋澤るみ子, 永井尚美, 長岡寛明, 永田龍二, 中村高敏, 本田二葉, 山田博章: **医薬品承認審査上の規格・安定性関連分野について一具体的事例を踏まえ一**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

K. Fukuhara, I. Nakanishi, M. Nagakawa, and N. Miyata :

Structural basis for DNA cleaving-activity of Resveratrol
8th International Conference on Environmental Mutagens
Nara Satellite Meeting (2001. 10)

I. Nakanishi, K. Fukuhara, T. Shimada*¹, S. Fukuzumi*², and N. Miyata : **Superoxide Anion Generation via Electron Transfer Oxidation of Catechin Dianion by Molecular Oxygen in an Aprotic Media**

8th International Conference on Environmental Mutagens
Nara Satellite Meeting (2001. 10)

*1 Osaka University

*2 Shibaura Institute of Technology

中西郁夫, 福原 潔, 島田知一*¹, 大久保 敬*², 栗原正明, 浦野四郎*¹, 福住俊一*², 宮田直樹: **カテキンジアニオンの酸化による活性酸素生成機構**
第34回酸化反応討論会 (2002. 11)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫, 内藤有紀, 佐藤由紀子, 島田知一*¹, 浦野四郎*¹, 宮田直樹: **キノン/NADHによる活性酸素生成機構の解析**

第34回酸化反応討論会 (2002. 11)

*1 芝浦工業大学

飯塚優子*¹, 稲見圭子*¹, 中西郁夫, 福原 潔, 宮田直樹, 望月正隆*¹: **塩素で置換した新規ビタミンE類縁体の抗酸化活性に及ぼす置換基の効果**

第34回酸化反応討論会 (2002. 11)

*1 共立薬科大学

島田知一*¹, 中西郁夫, 福原 潔, 大久保 敬*², 栗原正明, 浦野四郎*¹, 福住俊一*², 宮田直樹: **塩基性条件下におけるカテキンからの活性酸素生成**

第16回生体フリーラジカル研究会 (2002. 12)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫, 島田知一*¹, 永川真希, 浦野四郎*¹, 宮田直樹: **レスベラトロールによる酸化障害の解析一フェノール性水酸基からの活性酸素の生成一**

第16回生体フリーラジカル研究会 (2002. 12)

*1 芝浦工業大学応用化学科

飯塚優子*¹, 稲見圭子*¹, 中西郁夫, 福原 潔, 宮田直樹*², 望月正隆*¹: **塩素置換新規ビタミンE類縁体の抗酸化活性に及ぼす置換基効果**

日本薬学会第122年会(2002.3)

*1 共立薬科大学

*2 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫, 福原 潔, 大久保 敬*1, 島田知一*2, 浦野四郎*2, 福住俊一*1, 宮田直樹*3: フラボノイド類からの活性酸素生成機構

日本薬学会第122年会(2002.3)

*1 大阪大学大学院工学研究科

*2 芝浦工業大学応用化学科

*3 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫, 福原 潔, 大久保敬*1, 飯塚優子*2, 稲見圭子*2, 望月正隆*2, 島田知一*3, 浦野四郎*3, 福住俊一*1, 宮田直樹*4: ビタミンE類縁体ラジカルの金属イオンによる安定化とキャラクタリゼーション

日本薬学会第122年会(2002.3)

*1 大阪大学大学院工学研究科

*2 共立薬科大学

*3 芝浦工業大学応用化学科

*4 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 栗原正明, 宮田直樹*1: 光活性型NOドナー: 6-ニトロベンツ[a]ピレンからのNOの生成

日本薬学会第122年会(2002.3)

*1 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫, 丹野雅幸, 福原 潔, 大久保 敬*1, 福住俊一*1, 末吉祥子: ピリジン N-オキソド誘導体ラジカルアニオンの反応性

日本化学会第81春年会(2002.3)

*1 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫, 福原 潔, 島田知一*1, 大久保 敬*2, 浦野四郎*1, 飯塚優子*3, 稲見圭子*3, 望月正隆*3, 福住俊一*2, 宮田直樹*4: ビタミンE類縁体ラジカルの安定性に及ぼす金属イオンの効果

日本化学会第81春年会(2002.3)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 大阪大学大学院工学研究科

*3 共立薬科大学

*4 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫, 福原 潔, 島田知一*1, 大久保 敬*2, 浦野四郎*1, 栗原正明, 福住俊一*2, 宮田直樹*3: カテキン類による活性酸素生成とラジカル中間体のキャラクタリゼーション

日本化学会第81春年会(2002.3)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 大阪大学大学院工学研究科

*3 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 中西郁夫, 島田知一*1, 木村光宏*1, 杉山悦子, 寒水壽郎, 山口健太郎*2, 浦野四郎*1, 宮田直樹*3: 平面型カテキン誘導体の活性酸素消去能

日本化学会第81春年会(2002.3)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 千葉大学分析センター

*3 名古屋市立大学大学院薬学研究科

宮崎健太郎*1, 中西郁夫*2, 島田知一*1, 大久保 敬*3, 浦野四郎*1, 福住俊一*3, 宮田直樹*4, 福原潔: 塩基性条件下におけるフェノール性化合物からの活性酸素生成第24回日本フリーラジカル学会(2002.5)

*1 芝浦工業大学応用化学科

*2 放射線医学総合研究所

*3 大阪大学大学院工学研究科

*4 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 中西郁夫*1, 島田知一*2, 木村光宏*2, 杉山悦子, 寒水壽郎, 山口健太郎*3, 浦野四郎*2, 宮田直樹*4: 平面型カテキンのラジカル消去能の評価

第24回日本フリーラジカル学会(2002.5)

*1 放射線医学総合研究所

*2 芝浦工業大学応用化学科

*3 千葉大学分析センター

*4 名古屋市立大学大学院薬学研究科

袴田 航, 西尾俊幸*1, 奥 忠武*1, 室井 誠*2, 高月昭*2: 分子プローブを用いたプロセッシング・グルコシダーゼの基質特異性の解析

日本農芸化学会2002年度大会(2002.3)

*1 日本大学生物資源科学部

*2 理化学研究所

小川真弘*, 袴田 航, 湯倉 忍*, 河内 隆*, 西尾俊幸*, 奥 忠武*: *Aspergillus niger* α -グルコシダーゼの修飾基質分解におけるpH依存性について

日本農芸化学会2002年度大会(2002.3)

*1 日本大学生物資源科学部

山本伸明*, 中島康介*, 柳井 啓*, 松石 紫*, 袴田航河内 隆*, 西尾俊幸*, 奥 忠武*: PNP α -D-アルドヘキソピラノシドの各種ジアステレオマーに対する α -グリコシダーゼの反応性(2)

*1 日本大学生物資源科学部

橋高敦史*¹, 須原義智*¹, 平阪幸四郎*¹, 藤島利江*¹, 高山浩明*¹, 栗原正明, 宮田直樹, 新木敏正*², 中川公恵*², 岡野登志夫*²: 2α -置換- 1α , 25 -ジヒドロキシビタミン D_3 の合成と生物活性

第79回有機合成シンポジウム (2001.6)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 神戸薬科大学

栗原正明, 宮田直樹, 橋高敦史*, 藤島利江*, 須原義智*, 高山浩明*: A環修飾活性型ビタミン D_3 誘導体のVDR結合モデル

CBI学会2001年大会 (2001.7)

*¹ 帝京大学薬学部

Kittaka, A.*¹, Takayama, H.*¹, Sugiyama, T.*², Kuroda, R.*², Kurihara M., Inoue, J.*³: Introduction of Formyl-bearing Uracil Bases into Oligonucleotides: Effects to Sequence Specific and Non-specific DNA Binding Proteins

18th International Congress of Heterocycle Chemistry (2001.7)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 東京大学教養学部

*³ 慶応大学理工学部

栗原正明, 田中正一*, 大庭 誠*, 末宗 洋*, 宮田直樹: キラル α , α -ジ置換アミノ酸を含むオリゴペプチドのコンフォメーション: 計算化学によるアプローチ

第38回ペプチド討論会 (2001.10)

*九州大学薬学部

田中正一*, 大庭 誠*, 栗原正明, 出水庸介*, 西村晋*, 林田和裕*, 末宗 洋*: α , α -ジ置換アミノ酸とその含有ペプチドの不斉合成とコンフォメーション解析

第38回ペプチド討論会 (2001.10)

*九州大学薬学部

田中正一*, 大庭 誠*, 栗原正明, 末宗 洋*: α -アルキル化ジ置換アミノ酸の不斉合成とその含有ペプチドのコンフォメーション解析

第27回反応と合成の進歩シンポジウム (2001.11)

*九州大学薬学部

西村 晋*, 大庭 誠*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗 洋*: 光学活性 α -エチル化ジ置換アミノ酸を含有するペプチドのコンフォメーション解析

第18回日本薬学会九州支部大会 (2001.12)

*九州大学薬学部

出水庸介*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗 洋*: 光学活性環状 α , α -ジ置換アミノ酸の合成とそのペプチド

第18回日本薬学会九州支部大会 (2001.12)

*九州大学薬学部

Y. Demize*, M. Tanaka*, M. Kurihara, H. Suemune*: Synthesis of cyclic α , α -disubstituted α -amino acid

The 13th Japan-Korea Joint Seminar for Young Organic Chemists in Ube (2001.11)

*九州大学薬学部

栗原正明, 田中正一*, 大庭 誠*, 末宗 洋*, 宮田直樹: キラル α , α -ジ置換アミノ酸を含むオリゴペプチドの化学計算によるコンフォメーション解析

薬学会年会第122年会 (2002.3)

*九州大学薬学部

橋高敦史*, 平阪幸四郎*, 須原義智*, 藤島利江*, 吉田彰宏*, 栗原正明, 宮田直樹, 高山浩明*: 2α 位に芳香環を有する活性型ビタミン D_3 の合成とVDR結合活性

薬学会年会第122年会 (2002.3)

*帝京大学薬学部

出水庸介*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗 洋*: C_2 -対称性環状 α , α -ジ置換アミノ酸よりなるペプチドのコンフォメーション解析

薬学会年会第122年会 (2002.3)

*九州大学薬学部

西村 晋*, 大庭 誠*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗 洋*: 光学活性 α -エチル化ジ置換アミノ酸よりなるヘテロペプチドの合成とそのコンフォメーション解析

薬学会年会第122年会 (2002.3)

*九州大学薬学部

橋高敦史*, 平阪幸四郎*, 須原義智*, 藤島利江*, 吉田彰宏*, 栗原正明, 宮田直樹, 高山浩明*: 2β -フェニル- 1α , 25 -ジヒドロキシビタミン D_3 の合成とVDR結合活性

日本ビタミン学会第54大会 (2002.4)

*帝京大学薬学部

Fujishima, T.*¹, Konno, K.*¹, Nakagawa, K.*², Okano, T.*², Kittaka, A.*¹, Kurihara, M., Takayama, H.*¹: 2-Methyl analogues of $1\alpha, 25$ -dihydroxyvitamin D_3 , the potent inducers of cell differentiation and apoptosis:

synthesis and biological evaluation

Vitamin D Analogs in Cancer Prevention and Therapy
(2002, 5)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 神戸薬科大学

Kittaka, A.*¹, Suhara, Y.*¹, Fujishima, T.*¹, Kurihara, M.,
Konno, K.*¹, Takayama, H.*¹: **The 2alpha-positive motifs
of 1alpha,25-dihydroxyvitamin D3 in VDR binding**

Vitamin D Analogs in Cancer Prevention and Therapy
(2002,5)

* 帝京大学薬学部

丹野雅幸, 中西郁夫, 寒水壽朗, 末吉祥子: **アミドキシム
誘導体によるOHラジカル消去を利用したNO発生反
応**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

Yamakoshi, Y., Schlitter, R.R.*¹, Gimzewski, J.K.*¹ and
Diederich, F.*²: **Mecanoreceptor: synthesis and STM
image of a new mechanical receptor**

26th International Synposium on Macrocyclic Chemistry
(2001. 7)

*¹ IBM-Zürich Research Laboratory

*² Laboratorium für Organische Chemie, ETH-Zürich

Yamakoshi, Y., Schlittler, R.R.*¹, Gimzewski, J.K.*¹ and
Diederich, F.*²: **Synthesis and STM oimaging of tempera-
ture-dependent flexible receptor**

Tateshina Conference on Organic Chemistry 1st (2001.
11)

*¹ IBM-Zürich Research Laboratory

*² Laboratorium für Organische Chemie, ETH-Zürich

Yamakoshi, Y., Schlittler, R.R.*¹, Gimzewski, J.K.*¹ and
Diederich, F.*²: **グリッパー型人工レセプターの合成と
自己組織膜のSTM解析**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

*¹ IBM-Zürich Research Laboratory

*² Laboratorium für Organische Chemie, ETH-Zürich

斎藤嘉朗, 小澤正吾, 佐伯真弓, 村山典恵, 手島玲子,
澤田純一: **アレルギー発現要因としての薬物代謝**

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

祖山晃子, 斎藤嘉朗, 埴岡伸光, 村山典恵, 中島治, 香
取典子, 石田誠一, 佐井君江, 小澤正吾, 澤田純一:
CYP2C8 遺伝子多型に基づくバクリタキセル代謝能の変

化

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

奥貫晴代, 手島玲子, 重田輝子, 佐久嶋順一郎, 穂山浩,
合田幸広, 豊田正武, 澤田純一: **遺伝子組換え食品導入
蛋白質 (CP4-EPSPS等) の熱感受性並びにin vitro分解
性試験**

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001. 5)

手島玲子: **遺伝子組換え食品のアレルゲン性試験**
第8回日本免疫毒性学会学術大会 (2001. 9)

吉田貴彦*¹, 伊藤俊弘*¹, 中木良彦*¹, 大沢基保*², 高
橋和子*², 大塚文徳*², 澤田純一, 手島玲子, 小島幸一
*³: **環境リスク評価のための免疫指標の有効性に関する
検討—3歳幼児での検証—**

第8回日本免疫毒性学会学術大会 (2001. 9)

*¹ 旭川医科大学医学部

*² 帝京大学薬学部

*³ 食品薬品安全センター 秦野研究所

中島治, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 澤田純一: **OBCAM
結合タンパクの性質の検討**

第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

中村亮介, 石田誠一, 小澤正吾, 斎藤嘉朗, 手島玲子,
澤田純一: **RBL-2H3細胞の遺伝子発現プロファイル解
析**

第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

佐藤義隆*¹, 手島玲子, 木谷誠一*¹, 中村亮介, 森田寛
*¹, 佐々木信雄*², 澤田純一: **IgGを介した canine
mastocytoma由来の肥満細胞内情報伝達について**

第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

*¹ 東京大学医学部

*² 東京大学農学部

佐藤義隆*, 手島玲子, 中村亮介, 森田寛*, 澤田純一,
木谷誠一*: **IgGを介した canine mastocytoma由来の肥
満細胞内情報伝達について**

第51回日本アレルギー学会総会 (2001. 10)

* 東京大学医学部

奥貫晴代, 手島玲子, 佐久嶋順一郎, 五十鈴川和人, 穂
山浩, 豊田正武, 澤田純一: **W/W^vマウスにおける
OVA経口感作によるASA誘導**

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

高木加代子, 中村亮介, 渡邊敬浩, 手島玲子, 澤田純一: ヒト高親和性IgE受容体 α 鎖を発現するRBL-2H3細胞のアレルギー患者血清による脱顆粒
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

手島玲子, 中村亮介, 中島治, 蜂須賀暁子, 澤田純一: 肥満細胞からの脱顆粒反応への含窒素系農薬の影響
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

Li, P. *, Prasad, S. S. *, Hachisuka, A., Sawada, J., Gu, Q. * : Immunocytochemical study of OBCAM in cat primary visual cortex during postnatal development
Society for Neuroscience 31st Annual Meeting (2001. 11)
* University of British Columbia

Ohsawa, M. *¹, Otsuka, F. *¹, Takahashi, K. *¹, Teshima, R., Sawada, J., Shindo, T. *², Kanazawa, Y. *², Kojima, K. *², Yoshida, T. *³ : Immunological alterations in blood of toluene diisocyanate-sensitized mice
9th International Congress of Toxicology (2001. 7)

*¹ 帝京大学薬学部

*² 食品薬品安全センター秦野研究所

*³ 旭川医科大学医学部

Suzuki, K.: Essential roles of cofilin in phagocyte functions
10th International Symposium of Molecular Cell Biology of Macrophage (2001. 6)

Sato, Y., Schmidt, A.G. *¹, Kiriazis, H. *¹, Hoit, B.D. *², and Kranias, E.G. *¹ : Cardiac hypertrophy of aged transgenic FVB/N mice overexpressing caldesmon
The XVII World Congress of the International Society for Heart Research (2001. 6)

*¹ University of Cincinnati

*² University Hospitals of Cleveland and Case Western Reserve University

渡辺秀実*, 安達玲子, 楠井薫, 笠原忠*, 鈴木和博: 白血球細胞の分化に対する内分泌攪乱化学物質の影響
フォーラム2001: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2001. 10)

* 共立薬科大学

松井幸子*¹, 松本幸子*¹, 安達玲子, 大橋一正*², 水野健作*², 笠原忠*¹, 鈴木和博: 食細胞の機能発現におけるLIM-キナーゼ系の役割
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

*¹ 共立薬科大学

*² 東北大学

渡辺秀実*, 安達玲子, 楠井薫, 笠原忠*, 鈴木和博: 白血球細胞の分化に対する内分泌かく乱物質の影響
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

* 共立薬科大学

安達玲子, 武内恒成*, 鈴木和博: 食細胞の反応性に対するコフィリンアンチセンスの効果
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)
* 名古屋大学大学院理学研究科

安達玲子, 武内恒成*, 鈴木和博: 食細胞の反応性に対するコフィリンアンチセンスの効果
第55回日本細胞生物学会大会 (2002. 5)
* 名古屋大学大学院理学研究科

阪本英二*, 小野景義: 心筋症ハムスターにおける第二原因遺伝子の同定
第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)
* 国立循環器病センター研究所

阪本英二*, 東方壮男*, 眞崎知生*, 小野景義: 心筋症ハムスターにおける第二原因遺伝子の同定
第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)
* 国立循環器病センター研究所

小野景義, Georges Christe *¹, 阪本英二*²: ウサギ洞房結節細胞における細胞タイプ毎のエンドセリン-1の電気生理学的作用の相違
第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)
*¹ University of Joseph Fourier, France
*² 国立循環器病センター研究所

藤野智史, 佐藤陽治, 最上(西巻)知子: VLDL分泌制御におけるコレステリルエステル合成の役割
第74回日本生化学会大会 (2001. 10)

藤野智史, 佐藤陽治, 最上(西巻)知子: ACAT阻害剤のVLDL分泌低下作用
日本薬学会第122年会 (2002. 3)

Sato, Y., Mori, S., Fujino, T., Nishimaki-Mogami, T., Inoue, K.: Selective gene expression by a thyroid hormone receptor agonist in cardiomyocytes
第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)

Sai, K., Kanno, J., Hasegawa, R., Trosko, J.E.* and Inoue, T.: **Prevention of the down-regulation of gap junctional intercellular communication by green tea in the liver of mice fed pentachlorophenol**

2nd Congress of Asian Society of Toxicology (2000. 8)

*ミシガン州立大学

Sai, K., Kanno, J., Inoue, T. and Kaneko, T.: **Effects of TCDD on GJIC and cell growth in v-ras transfected rat liver epithelial cells**

20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPS (2000. 8)

Upham, B.L.* , Trosko, J.E.* , Hirose, A., Hasegawa, R., Kanno, J., Inoue, T. and Sai, K.: **Determination of structure-activity relationships of perfluorinated fatty acid on gap junctional intercellular communication and MAPK using in vivo and in vitro model**

Annual Meeting of the Society of Toxicology (2001. 3)

*ミシガン州立大学

Sai, K., Kaniwa, N., Ozawa, S. and Sawada, J.: **A new metabolite of irinotecan (CPT-11) whose formation is mediated by human hepatic cytochrome P-450 3A4.**

6th International ISSX meeting (2001, 10)

関澤 純：リスクアセスメントとは

全国消費者団体連絡会2001年夏期セミナー (2001. 8)

Sekizawa J : **Investigation on possible causes of the change in the sex ratio of live births in Japan: Putative relation to dioxin body burden**

21st International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2001. 9)

関澤 純：リスクアセスメントの国際動向ととりまとめ

日本リスク研究学会化学物質リスクアセスメント基礎講習会 (2001. 9)

関澤 純, 土屋利江, 配島由二：ビスフェノールA重合樹脂成型血液透析器使用のリスク・ベネフィット分析
日本リスク研究学会第14回研究発表会要旨集, 63-76 (2001. 11)

Sekizawa J., Ohtake C., Matsui S.*¹, Uchiyama I.*², Ohya Y., Yanagida Y.: **Screening assessment of risks to humans and other organisms from exposure to pharmaceuticals and hormonally active agents in the environment of**

Japan

SETAC/Asia-Pacific Symposium (2001. 11)

*¹ Kyoto University

*² National Institute of Public Health

関澤 純, 広瀬明彦：フタル酸ジエチルの健康及び環境リスク評価

日本内分泌攪乱化学物質学会第4回研究発表会 (2001. 12)

関澤 純：ダイオキシンのリスク評価の最新動向

日本水環境学会関西支部講演会 (2002. 1)

山本 都：リスクアセスメントのための情報調査

日本リスク研究学会化学物質リスクアセスメント基礎講習会 (2001. 9)

大竹千代子, 伊藤尚史*¹, 関澤純：臭素化ジフェニルエーテル (PBDEs) の生体・環境中濃度を基にした健康・環境のリスク評価について—日本の状況を欧州と比較して—

第10回環境化学討論会 (2001. 5)

*¹ 旭化成(株)

大竹千代子, 関澤 純：Diethylstilbestrolの低用量試験での陽性反応再現性確立への提案

日本内分泌攪乱化学物質学会第4回研究発表会 (2001. 12)

中田琴子, 中野達也, 瀧明子, 福澤薫, 神沼二真：パラダイマティックな薬の標的知識ベースの開発

CBI学会第二回年会 (2001. 7)

中田琴子, 中野達也, 菊地啓陽, 瀧明子, 福澤薫, 神沼二真：パラダイマティックな薬の標的知識ベースの開発
第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

Nakata, K., Tokunaga, M., Toda, K., Takai-Igarashi, T., Kaminuma, T.: **An Agent System for Collecting SNPs Data.**

The 4th International Workshop on Advanced Genomics: From Genomics to Proteomics (2001. 11)

Nakano, K., Fukuzawa, K., Koyano, K., Yukawa, M., Komiyama, N., Toda, K., Nakata, K., Kaminuma, T.: **Computational Models and Databases for Studying Endocrine Disruptor Hypothesis.**

日本内分泌攪乱化学物質学会第4回研究発表会 (2001.

12)

林 譲：FUMI理論の基本的な考え方
第1回FUMI理論シンポジウム (2001.6)

林 譲：FUMI理論で求めた精度と統計的に求めた精度
の信頼性について
第2回FUMI理論シンポジウム (2001.12)

中野達也*¹, 瀧明子*¹, 長谷川式子*¹, 鈴木聡子*², 神
沼二真*¹, 宮田直樹*¹: 日本薬局方および日本医薬品一
般名称データベースの開発
CBI学会第二回年会 (2001.7)
*¹ 国立衛研
*² データインデックス

中野達也*¹, 上林正巳*², 古明地勇人*², 上野豊*², 神
沼二真*¹, 北浦和夫*³: フラグメント分子軌道法プログ
ラムABINIT-MPの現状と今後の発展
CBI学会第二回年会 (2001.7)
*¹ 国立衛研
*² 産総研
*³ 大阪府大

頭金 正博, C. Sinal*¹, 宮田 昌明*², F. J. Gonzalez*¹
¹: 核内受容体FXR/BARによるCyp7aの発現誘導機
構—FAR/BAR遺伝子欠損マウスを用いた解析
シトクロムP450シンポジウム (2001.6)
*¹ 米国NIH
*² 東北大薬

頭金 正博: 核内受容体による胆汁酸生合成の制御
第2回ホルモンと癌研究会 (2001.7)

Tohkin, M.: Regulation of bile acid homeostasis by
orphan nuclear receptor, FXR
2nd Bone Frontier Seminar (2002.2)

井上 達: Toxicogenomicsがトキシコロジー研究に果
たす役割
日本薬学会第122年会 (2002.3)

井上 達: トキシコゲノミックスの展望—ヒト肝細胞・
遺伝子発現解析からの副作用の予測
日本チャールスリバー(株)・ディ・スリー研究所共催
(2002.1)

Inoue, T.: Introductory Keynote Reverse Toxicology - a

new paradigm of toxicology
Toxicogenomics International Forum 2001 (2001.10)

井上 達: 「血液毒性」化学物質の造血組織に対する影
響とリバーストキシコロジー
第24回日本学術会議トキシコロジー研究連絡委員会シ
ンポジウム (2001.12)

Inoue, T.: Life Science-based Future Toxicology
Lecture at the Seoul National University (2001.9)

Inoue, T.: Endocrine Disrupting Chemicals Hormonally
Active Compounds (HAC) and Endocrine Disruption (ED)
Possible mechanism of "low dose effect" in endocrine
disrupting chemicals
NITR/KFDA Seminar (2001.9)

井上 達: 会長講演—トキシコロジー管見
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Huo, Y., Igarashi, K.,
Kodama, Y., Kanno, J., Willecke, K.*, Inoue, T.: Role of
Connexin-32 on Chemical Leukemogenesis
KeyStone symposium "Stem Cells: Origins, Fates and
Functions" (2002.3)
* Bonn University

井上 達, 平林 容子, 尹 秉一, 川崎 靖, 児玉 幸夫, 相澤
慎一*¹, 北田 邦雄*², 堀井 郁生*², 菅野 純: ベンゼン白
血病: その遺伝子毒性発がんのエピジェネティック発が
ん
第24回日本分子生物学会年会 (2002.12)
*¹ 熊本大学・発生医学研究センター
*² 日本ロシュ研

平林容子, Yoon Byung-II, 児玉幸夫, 菅野 純, 井上
達: コネキシン32の白血病発症における役割
2001年度コネキシン研究会 (2001.12)

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Huo, Y., Kodama, Y., Kanno,
J., Otto, T.*, Willecke, K.*, Inoue, T.: Connexin-32
functions in the steady state hemopoiesis as well as in the
chemical leukemogenesis
American Society of Hematology Forty-third Annual
meeting (2001.12)
* Bonn University

平林容子, 尹 秉一, 霍 艶, 川崎 靖, 児玉幸夫, 菅

野 純, 井上 達: コネクシン欠失造血障害モデル
第18回日本疾患モデル学会総会 (2001. 11)

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Aizawa, S-I. *, Kaneko, T., Kanno, J., Inoue, T.: **genomics-array displays the differences in mechanism of benzene leukemogenicity between one in p53-deficiency and the other in the wild-type C57BL/6 mice.**

15th International Mouse Genome Conference (2001. 10)

* Kumamoto University

平林容子, 霍 艶, 児玉幸夫, 菅野 純, 黒川雄二*, 井上 達: **細胞間ギャップ結合コネクシン32の骨髄における機能的役割: 正常造血状態と障害後の再生状態について**

第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

* 佐々木研究所

川崎 靖, 平林容子, 尹 秉一, 霍 艶, 金子豊蔵, 黒川雄二*, 井上 達: **ベンゼン (Bz) の実験白血病発症機構の研究: p53KO マウスに対する吸入暴露による白血病の好発**

第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

* 佐々木研究所

井上 達, 平林容子, 尹 秉一, 川崎 靖, 児玉幸夫, 金子豊蔵, 菅野 純, 黒川雄二*¹, 相澤慎一*²: **ベンゼン白血病のp53欠失マウスと野生型マウスにおける異なった発症メカニズムについて**

第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

*¹ 佐々木研究所

*² 熊本大学

Yoon, B-I., Hirabayashi, Y., Kanno, T., Kodama, Y., Kanno, J., Yodoi, J. *¹, Kim, D-Y. *², Inoue, T.: **Transgene Expression of Thioredoxin (TRX/ADF) Protects against 2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-P-Dioxin (TCDD)-induced Hematotoxicity**

Dioxin 2001: 21st International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2001. 9)

*¹ Kyoto University

*² Seoul National University

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Hou, Y., Kodama, Y., Kanno, J., Inoue, T.: **Role of connexin-32 gap junction in normal and regenerating hemopoiesis.**

30th Annual Meeting of the International Society for

Experimental Hematology (2001. 8)

Inoue, T., Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kanno, J., Aizawa, S-I. *, Kaneko, T.: **Mechanism of benzene leukemogenicity: Genotoxic leukemogenesis in p53-deficiency vs. Epigenetic leukemogenesis in wild type.**

30th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (2001. 8)

* Kumamoto University

Minehata, K. *¹, Sekine, K. *¹, Hara, T. *², Donovan, P. *³, Hirabayashi, Y., Inoue, T., Miyajima, A. *¹: **A role for OncostatinM in the bone marrow Hematopoietic microenvironment.**

Presidential Symposium

30th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (2001. 8)

*¹ The University of Tokyo

*² The Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

*³ Thomas Jefferson University

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Hou, Y., Kodama, Y., Kanno, J., Willecke, K. *, Inoue, T.: **Role of Connexin-32 gap junction: Normal hemopoiesis vs. regenerating state.**

2001 International Gap Junction Conference (2001. 8)

* Bonn University

Inoue, T., Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Hou, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T., Kanno, J., Willecke, K. *: **Role of Connexin-32 on leukemogenesis: Genotoxic vs. Epigenetic.**

2001 International Gap Junction Conference (2001. 8)

* Bonn University

Hirabayashi, Y., Yoon, B-I., Huo, Y., Kodama, Y., Kanno, J., Willecke, K. *, Inoue, T.: **Role of connexin-32: Steady state hemopoiesis and leukemogenesis-a possible disease model lacked with connexin-32.**

Mouse Initiatives III: Modeling the Human Genome and Disease (2001. 8)

* Bonn University

Yoshida, K. *, Hirabayashi, Y., Inoue, T.: **Calorie restriction reduces the incidence of radiation-induced myeloid leukemia.**

European conference on Nutrition & Cancer (2001. 6)

* National Institute of Radiological Sciences

平林容子, 井上 達: チオレドキシシン過剰発現マウスの環境ストレス耐性シンポジウム1「酸化的DNA障害の分子機構」

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

霍 艶, 平林 容子, 五十嵐勝秀, 尹 秉一, 川崎 靖, 児玉 幸夫, 金子 豊蔵, 菅野 純, 井上 達: **Is Nrf2 involved in benzene metabolic pathway?**

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

Tanaka, M. *, Sawada, U. *, Horie, T. *, Aizawa, S. *, Hiramoto, M. *, Aisaki, K. and Kanno, H. *: **Ineffective erythropoiesis in the mutant mice with deficiency of pyruvate kinase activity.**

30th Annual Meeting of International Society for Experimental Hematology, (2001. 8)

* Nihon University

松島裕子, 井上 達, 菅野 純: 子宮肥大反応の特性について

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

菅野 純, 松永信人, 吉村 功: 子宮肥大試験等, 実験動物を用いた相加相乗性の検討の際の統計解析

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

霍 艶, 平林容子, 川崎 靖, 児玉幸夫, 金子豊蔵, 菅野 純, 井上 達: **Is Nrf2 involved in benzene metabolic pathway?**

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

菅野 純: 内分泌かく乱化学物質のリスク評価—受容体原生毒性としての考察—

第7回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会 合同研究発表会 (2001. 8. 27)

菅野 純: 内分泌かく乱化学物質—受容体原生毒性としての考察

日本病理学会 (2001. 4)

平林容子, 淀井淳司, 菅野 純, 鈴木幸子, 尹秉一, 内田雄幸, 梅村隆志, 川崎 靖, 黒川雄二, 井上 達: **Trx/ADF 遺伝子改変マウスのパラコート抵抗性**

日本病理学会 (2001. 4)

菅野 純: 内分泌かく乱化学物質問題と飼料中ホルモン活性成分について

日本実験動物科学技術大会日本実験動物飼料協会 (共催団体シンポジウム) (2001. 5. 8)

Kanno, J., Matsunaga, N., Yoshimura, I.: **Evaluation Method for synergism and its application on in vivo studies for endocrine disruptor**

International Conference on Statistical Challenges in Environmental Health Problems (2001. 8)

Kanno, J.: **Reverse Toxicology as future predictive toxicology**

Toxicogenomics International Forum 2001 (2001. 10)

橋本せつ子*, 小野 敦, 浅野和信*, 大藤 努*, 井上 達, 菅野 純: 表面プラズモン共鳴センサーを用いた内分泌かく乱化学物質スクリーニング法

第74回 日本生化学会大会 (2001. 10)

*ピアコア株式会社

Kitajima, S., Takagi, A., Inoue, T. and Saga, Y. *: **Mesp1 and Mesp2 are required cell-autonomously for the cardiac precursor development in mice**

The 14th International Congress of Developmental Biology (2001. 7)

* 国立遺伝学研究所

Kitajima, S., Takagi, A., Inoue, T. and Saga, Y. *: **Mesp1 is the earliest sign of cardiovascular development in mice**

Mouse Molecular Genetics Meeting (2001. 8)

* 国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 高木篤也, 富田幸子*¹, 井上 達, 相賀裕美子*²: 転写因子 Mesp1 の発現を指標とした心臓形成における細胞系譜の解析

第24回日本分子生物学会 (2001. 12)

*¹ 東京女子医大

*² 国立遺伝学研究所

高木篤也, 菅野純, 井上達: ES細胞の分化に及ぼすTCDDの影響

第28回日本トキシコロジー学会 (2001. 6)

Takagi, A., Kitajima, S., Takahashi, Y., Inoue, T., Rawls, A., and Saga, Y. *: **Synergistic function of Mesp2 and Paraxis on the vertebral development.**

Somite meetings in Nara (2001. 7)

* 国立遺伝学研究所

Takagi, A., Igarashi, K., Takahashi, Y., Kanno, J., and Inoue, T.: **Effects of TCDD on the gene expression in mouse embryonic stem cells in culture.**

The 21st International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Korea. (2001. 9)

Takahashi, Y., Koizumi, K., Takagi, A., Kitajima, S., Inoue, T., Koseki, H. and Saga, Y.*: **Dynamic change in Mesp2 expression is essential for modulating Notch signaling to form rostro-caudal polarity in somites.**

The 14th International Congress of Developmental Biology (2001. 7)

*国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Inoue, T. and Saga, Y.*: **Interactions between Dll1 and Mesp2 are essential for modulating Notch signaling to establish segmental pattern in somitogenesis.**

Somite meetings in Nara (2001. 7)

*国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Inoue, T. and Saga, Y.*: **Interactions between Dll1 and Mesp2 are essential for modulating Notch signaling to establish segmental pattern in somitogenesis.**

Mouse Molecular Genetics Meeting (2001. 8)

*国立遺伝学研究所

上野将也*, 五十嵐勝秀, 木村直紀*, 沖田圭介*, 滝沢牧子*, 下村泰三*, 高倉伸幸*, 須田年生*, 北村俊雄*, 信久幾夫*, 中島欽一*, 田賀哲也*: **造血幹細胞の起源であるマウス胎仔背側大動脈での endomucin の発現とその機能** (2001. 12)

*熊本大学

Koizumi, S., Tsuda, M., Shigemoto-Mogami, Y., Obama, T. and Inoue, K.: **P2Y receptor-mediated Ca²⁺ signaling in the capsaicin-sensitive dorsal root ganglion neurons.**

International Society for Neurochemistry (2001. 8)

小泉修一, 津田誠, 重本(最上)由香里, 井上和秀: **ATP を介する神経細胞-アストロサイト連関** Neuro2001 (2001. 9)

井上和秀, 津田誠, 小泉修一: **ATP と痛み** Neuro2001 (シンポジウム) (2001. 9)

Koizumi, S., Tsuda, M., Shigemoto-Mogami, Y., Obama, T. and Inoue, K.: **Involvement of P2Y receptors in capsaicin-sensitive rat dorsal root ganglion neurons.**

31st Society for Neuroscience (2001. 11)

溝腰朗人, 津田誠, 重本(最上)由香里, 小泉修一, 井上和秀: **神経因性疼痛モデル動物の脊髄内ミクログリアにおける p38MAPK の活性化**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

井上和秀, 津田誠, 重本(最上)由香里, 小泉修一: **A/J マウス P2X3 受容体発現制御変化と痛み**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

津田誠, 重本(最上)由香里, 溝腰朗人, 小泉修一, 井上和秀: **ミクログリアでの低用量ATP誘発Ca²⁺応答におけるP2X受容体サブタイプの関与と痛みにおける役割**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

小泉修一, 藤下加代子, 津田誠, 重本(最上)由香里, 小濱とも子, 井上和秀: **ATP を介した海馬アストロサイトの神経伝達制御**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

藤下加代子, 小泉修一, 重本(最上)由香里, 小濱とも子, 井上和秀: **ラット海馬初代培養アストロサイトにおける内在性ATP誘発細胞間Ca²⁺wave伝播の解析**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

宮竹真由美*, 小泉修一, 藤下加代子, 津田誠, 成田年*, 鈴木勉*, 井上和秀: **Dopamine による海馬初代astrocyteの細胞内calcium濃度上昇機構**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

*星薬科大学

井上かおり*, 小泉修一, 藤原重良*, 傳田澄美子*, 井上和秀, 傳田光洋*: **ヒト正常表皮角化細胞にvanilloid receptor subtype 1が存在する**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

*資生堂

重本(最上)由香里, 小泉修一, 津田誠, 小濱とも子, 井上和秀: **サイトカインは無血清によるPC12細胞死を抑制する**

第75回日本薬理学会 (2002. 3)

Koizumi, S. and Inoue, K.: **A dynamic regulation by astrocytic ATP of synaptic transmission in the**

hippocampus.

The 3rd International Symposium for Brain Function
(2002. 5)

佐藤薫, 松木則夫*, 中澤憲一, 大野泰雄: 培養アストロサイトのグルタミン酸取り込みに対するエストロゲンおよびその類縁物質の作用

第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)

*東京大学

澤英明, 中澤憲一, 野沢玲子*, 竹内幸一*, 大野泰雄: ATP受容体チャネルの多価カチオン感受性

第75回日本薬理学会総会 (2002. 3)

*明治薬科大学

Sato, K. Tamuki, M., Nakazawa, K., Ohno, Y.: The effect of estrogen and the related compounds on mossy fiber-CA3 synapses

31st Society for Neuroscience (2001. 11)

小澤正吾: ミレニアムプロジェクト 薬剤反応性解析 創薬基盤技術の開発に関するシンポジウム (2001. 7)

小澤正吾: ゲノム薬理と薬物相互作用

第48回日本臨床検査医学会総会 (2001. 8)

小澤正吾: 薬剤反応性遺伝子多型に基づくゲノム医療への取り組み

第11回日本医療薬学会年会 (2001. 9)

小澤正吾, 中島由起子, 村山典恵, 佐井君江, 斎藤嘉朗, 澤田純一: エステル型吸入喘息ステロイドの活性化に関わる薬物代謝酵素

第16回日本薬物動態学会年会 (2001. 10)

小澤正吾: ミレニアムプロジェクト (薬剤反応性) の進展状況

日本学術会議生物系薬学研究連絡委員会シンポジウム (2002. 2)

岡崎 治*¹, 糸川健一*¹, 馬場隆彦*², 桐田史朗*², 吉村義信*³, 青山英嗣*³, 山田泰弘*⁴, 福田勝行*⁴, 石谷祥彦*⁵, 中川俊人*⁵, 嶋田 薫*⁶, 村瀬茂夫*⁶, 篠内桃子, 酒見和枝, 大野泰雄: 臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究 (3) 非凍結ヒト肝細胞を用いたCYP3A4酵素の誘導評価法の検討

第16回薬物日本動態学会 (2002. 10)

*¹ 第一製薬(株) 創剤代謝研究所

*² 塩野義製薬(株) 新薬研究所

*³ 武田薬品工業(株) 薬物機能第一研究所

*⁴ 田辺製薬(株) 薬物動態ユニット

*⁵ 中外製薬(株) 薬物動態研究所

*⁶ ファイザー製薬(株) 薬物動態研究所

篠内桃子, 酒見和枝, 馬場隆彦*¹, 桐田史朗*¹, 岡崎治*², 糸川健一*², 吉村義信*³, 青山英嗣*³, 山田泰弘*⁴, 福田勝行*⁴, 石谷祥彦*⁵, 中川俊人*⁵, 嶋田 薫*⁶, 村瀬茂夫*⁶, 石塚恒雄*⁷, 菊池高光*⁷, 大野泰雄: 臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究 (4) 非凍結ヒト肝細胞を用いたCYP1A酵素の誘導評価法の検討

第16回薬物日本動態学会 (2002. 10)

*¹ 塩野義製薬(株) 新薬研究所

*² 第一製薬(株) 創剤代謝研究所

*³ 武田薬品工業(株) 薬物機能第一研究所

*⁴ 田辺製薬(株) 薬物動態ユニット

*⁵ 中外製薬(株) 薬物動態研究所

*⁶ ファイザー製薬(株) 薬物動態研究所

*⁷ 明治製薬(株) 薬物動態研究所

紅林秀雄: ビフェニルの代謝的活性化におけるヒトと実験動物との差

ヒューマンサイエンス振興財団支援研究成果発表会 (2001. 6)

紅林秀雄, 大野泰雄: ビフェニルの代謝活性におけるヒトと実験動物との差

第75回日本薬理学会年会 (2002. 3)

宇佐見誠, 満長克祥*, 大野泰雄: ヒト組み替え受容体を用いたピアコアバイオセンサーによる化学物質のエストロゲン受容体結合能のスクリーニング

日本動物実験代替法学会第15回大会 (2001. 8)

*東邦大学

宇佐見誠: 化学物質の発生毒性のプロテオミクスの手法による解析の可能性と問題点

第2回生殖・発生毒性学東京セミナー (2001. 11)

大野泰雄: 創薬におけるヒト組織の利用: 動態・薬効・副作用/個人差・相互作用ガイドスに関するQ & A

第8回HAB協議会学術年会 (2001. 5)

大野泰雄: リスクアセスメントの新しい流れ

日本トキシコロジー学会教育講演 (2001. 6)

Ohno, Y.: ICH guidelines, Implementation of the Three Rs: Incorporating Best Scientific Practices into the Regulatory Process. ICLAS-CCAC International Symposium on Regulatory Testing and Animal Welfare International Council for Laboratory Animal Science (ICLAS)/Canadian Council on Animal Care (CCAC) 主催「行政試験と動物福祉についての国際シンポジウム」(2001.6)

大野泰雄, 泉二奈緒美*: イギリスの地域研究倫理委員会, ヒト組織の研究開発への利用(平滑筋・代謝研究及びヒト組織利用の倫理) ヒューマンサイエンス振興財団支援研究成果発表会(2002.6)

*生体科学研究所

大野泰雄: 薬の相互作用について 国立医薬品食品衛生研究所一般公開日市民講演会(2001.7)

大野泰雄: 「薬物相互作用の検討方法について」および「医薬品の臨床薬物動態試験について」 公定書協会講演(2001.8)

大野泰雄: “ヒトへの作用を知るには, やはりヒトの細胞か?” 眼粘膜刺激性試験-in vitroの立場から 日本動物実験代替法学会ディベート(2001.8)

大野泰雄: 動物実験代替法 第132回日本獣医学会学術集会(2001.10)

三浦 慎一*¹, 繁原 英治*¹, 森田 繁道*², 田端 滋*², 藤崎 浩*³, 有馬 徳行*³, 馬場 隆彦*⁴, 三瀬 雅史*⁵, 寺内 嘉章*⁵, 松本 茂樹*⁶, 大西 修平*⁶, 神山 佳輝*⁷, 野口 清*⁷, 紅林 秀雄, 大野 泰雄: 臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究(5) 凍結ヒト肝細胞を用いた薬物代謝活性の施設間比較検討 第16回日本薬物動態学会(2001.10)

*¹ 三共

*² アベンティスファーマ

*³ ウェルファイド

*⁴ 塩野義製薬

*⁵ 大日本製薬

*⁶ 持田製薬

*⁷ 山之内製薬

藤崎 浩*¹, 有馬 徳行*¹, 森田 繁道*², 田端 滋*², 繁原 英治*³, 三浦 慎一*³, 馬場 隆彦*⁴, 寺内 嘉章*⁵, 三瀬 雅史*⁵, 松本 茂樹*⁶, 大西 修平*⁶, 神山 佳輝*⁷, 野口 清*⁷, 大野 泰雄: 臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究(6) 凍結ヒト肝細胞を用いた薬物代謝データとin vivoデータとの比較 第16回日本薬物動態学会(2001.10.18)(神戸)

*¹ ウェルファイド

*² アベンティスファーマ

*³ 三共

*⁴ 塩野義製薬

*⁵ 大日本製薬

*⁶ 持田製薬

*⁷ 山之内製薬

大野泰雄: 凍結保存ヒト肝細胞の機能(薬物代謝活性を中心に) 第28回日本低温医学会総会(2001.11)

Ohno, Y.: New Japanese guidance for drug-drug interactions 5th International Conference on Drug-Drug Interactions. (2001.12)

大野泰雄: 臨床薬物動態ガイダンスから 生物系薬学研連シンポジウム(2002.2)

大野泰雄: 臨床試験との関係における非臨床試験実施タイミング 東大病院臨床試験セミナー(2002.3)

Ohno, Y. and Motoji, N.*: Ethics and ethics committee for use of human tissue to research purpose 第75回日本薬理学会年会(シンポジウム)(2002.3)

*生体科学研究所

古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ハムスターBOP発がんにおける発生部位の検討 第90回日本病理学会総会(2001.4)

西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄: LECラットの肝病変発症に及ぼす抗酸化物質の影響 第90回日本病理学会総会(2001.4)

古川文夫, 西川秋佳, 若林敬二*, 広瀬雅雄: COX-2 inhibitorによるハムスターBOP隣発がんの抑制 第8回日本がん予防研究会(2001.7)

*国立がんセンター研究所

山岸 恵, 西川秋佳, 古川文夫, 越阪部奈緒美*, 滝沢登志雄*, 広瀬雅雄: カカオポリフェノール (CLPr) のPhIP誘発ラット乳腺発がんに対する修飾作用
第8回日本がん予防研究会 (2001. 7)

*明治製菓(株)栄養機能研究所

西川秋佳, 孫 和永, 山岸 恵, 岡崎和志, 今沢孝喜, 古川文夫, 広瀬雅雄: カフェインと甲状腺刺激要因によるラット甲状腺発がんの相乗的促進
第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

山岸 恵, 西川秋佳, 岡崎和志, 古川文夫, 今沢孝喜, 越阪部奈緒美*, 広瀬雅雄: カカオポリフェノール (CLPr) の雄性ラット多臓器発がんに対する修飾作用
第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

*明治製菓(株)栄養機能研究所

李 仁善*, 李 成喜*, 孫 和永, 古川文夫, 西川秋佳: 韓国産 *Saururus chinensis* による抗癌および抗酸化効果
第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

*韓国啓明大学理学部

Mori, Y.* , Koide, A.* , Kobayashi, Y.* , Nishikawa, A., Furukawa, F. and Hirose, M.: Influences of cigarette smoke and/or MeIQx on the metabolic activation of environmental carcinogens by rat liver,

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*岐阜薬科大学

Nakajima, M.*¹, Kikuchi, M.*¹, Masumori, S.*¹, Tanaka, J.*¹, Inagaki, S.*¹, Furuya, Y.*¹, Nishikawa, A. and Kinae, N.*²: Genetic response of 3-chloro-4-(dichloromethyl)-5-hydroxy-2(5H)-furanone (MX) in several *in vivo* mutagenicity tests

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*¹ 食品農医薬品安全性評価センター

*² 静岡県立大学食品栄養科学部

Nishikawa, A., Furukawa, F., Okazaki, K., Yamagishi, M., Koide, A.* , Mori, Y.* and Hirose, M.: Enhancement by cigarette smoke exposure of MeIQx-induced liver and colon carcinogenesis in rats

8th International Conference on Environmental Mutagens

(2001. 10)

*岐阜薬科大学

Nishikawa, A., Suzuki, T., Masumura, K., Okazaki, K., Yamagishi, M., Furukawa, F., Nohmi, T. and Hirose, M.: Transgenic reporter genes in mice for analyzing the molecular mechanisms underlying experimental carcinogenesis

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

Nishikawa, A.: Chemopreventive effects of a COX-2 inhibitor nimesulide on *N*-nitrosobis(2-oxopropyl)amine (BOP)-induced pancreatic carcinogenesis in hamsters

1st International Symposium on Recent Progress in Biosciences and Its Industrial Application, Invited Lecture (2001. 11)

Nishikawa, A., Son, H-Y., Imazawa, T., Okazaki, K. and Hirose, M.: Modifying effects of 17 β -estradiol 3-benzoate on thyroid tumorigenesis in gonadectomized rats induced by *N*-bis(2-hydroxypropyl)nitrosamine

6th International Symposium on Predictive Oncology and Intervention Strategies (2002. 2)

Nishikawa, A., Furukawa, F., Okazaki, K., Umemura, T., Wakabayashi, K.* and Hirose, M.: Prevention by nimesulide of *N*-nitrosobis(2-oxopropyl)amine-induced pancreatic carcinogenesis in hamsters

6th International Symposium on Predictive Oncology and Intervention Strategies (2002. 2)

*国立がんセンター研究所

岡崎和志, 岡崎修三*, 西村進*, 中村英明*, 北村泰樹*, 畠山和久*, 中村 厚*, 津田敏治*, 勝亦俱慶*, 西川秋佳, 広瀬雅雄: Enhanced OECD Test Guideline 407に基づくMethoxychlorの28日間反復投与毒性試験
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001. 6)

*(株)ボゾリサーチセンター

岡崎和志, 西川秋佳, 古川文夫, 今沢孝喜, 山岸 恵, 中村英明, 広瀬雅雄: BITCの同時投与によるラットBBN膀胱発がんの抑制

第8回がん予防研究会 (2001. 7)

岡崎和志, 西川秋佳, 古川文夫, 今沢孝喜, 山岸 恵, 広瀬雅雄: MNNG誘発ラット胃発がんに対するアスコルビン酸と亜硝酸塩併用投与の用量相関性

第60回日本癌学会(2001.9)

岡崎和志, 西川秋佳, 増村健一, 孫 和永, 今沢孝喜, 梅村隆志, 能美健彦, 広瀬雅雄: *gpt delta* ラット及びマウスを用いた臭素酸カリウム12週間投与による腎遺伝毒性の検索

第18回毒性病理学会(2002.1)

梅村隆志, 児玉幸夫, 日置恭司^{*1}, 西川秋佳, 今沢孝喜, 岡崎和志, 広瀬雅雄, 井上 達, 野村達次^{*1}, 黒川雄二^{*2}: *rasH2* マウスにBHTを組み合わせた肺発がん物質早期検出モデル開発の試み

第18回毒性病理学会(2002.1)

^{*1} 実中研

^{*2} 佐々木研

今沢孝喜, 西川秋佳, 中村英明, 宮内 慎, 畝山智香子, 広瀬雅雄: ビンクリスチンの神経毒性に対するグルタミン酸の軽減効果

第60回日本癌学会総会(2001.9)

今沢孝喜, 西川秋佳, 曾根秀子^{*}, 梅村隆志, 岡崎和志, 広瀬雅雄: LECラット肝におけるHNE 修飾蛋白およびHSP60 蛋白の発現について

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 国立環境研

上田 誠, 三森国敏^{*}, 小野寺博志, 高木久宜, 安原加壽雄, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: *p53* ノックアウトCBA マウスを用いた子宮発癌モデルにおける内分泌攪乱化学物質の子宮発癌修飾作用について

第28回日本トキシコロジー学会学術年会(2001.6)

^{*} 東京農工大学

上田 誠, 仁保直子, 小野寺博志, 瀧澤 保, 渋谷 淳, 今井俊夫, 広瀬雅雄: GenisteinのDMBA誘発ラット乳腺腫瘍に対する修飾作用

第60回日本癌学会総会(2001.9)

今井俊夫, 小野寺博志, 瀧澤 保, 上田 誠, 広瀬雅雄: DHPN誘発ラット甲状腺腫瘍におけるEGF receptor, TGF- β の発現

第60回日本癌学会総会(2001.9)

瀧澤 保, 安原加壽雄, 三森国敏^{*}, 今井俊夫, 小野寺博志, 上田 誠, 田村 啓, 高木久宜, 広瀬雅雄: CB6F1-Tg-rasH2マウスの胃粘膜に対するcatecholの発癌感受性

第60回日本癌学会総会(2001.9)

^{*} 東京農工大学

伊藤純子^{*}, 三森国敏^{*}, 安原加壽雄, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: ウレタンイニシエーション処置*rasH2* マウスにおけるグリセロールの肺発癌修飾作用

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 東京農工大学

峰村由貴恵^{*}, 三森国敏^{*}, 安原加壽雄, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: NNKイニシエーション処置*rasH2* マウスにおける2,6-dimethylanilineの鼻腔発癌修飾作用

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 東京農工大学

高橋明子^{*}, 三森国敏^{*}, 安原加壽雄, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: NNKイニシエーション処置*rasH2* マウスにおける2,6-dimethylanilineの肺腫瘍修飾作用

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 東京農工大学

今井俊夫, 瀧澤 保, 上田 誠, 小野寺博志, 広瀬雅雄: DHPN誘発ラット甲状腺腫瘍のプロGRESSION過程におけるEGF receptor, TGF- β 及びTSH receptorの関与

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

小野寺博志, 安原加壽雄, 梶谷高敏, 竹川 潔, 高木久宜, 上田 誠, 瀧澤 保, 今井俊夫, 三森国敏^{*}, 広瀬雅雄: ベクチン分解物のF344ラットにおける癌原性試験

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 東京農工大学

上田 誠, 仁保直子, 今井俊夫, 小野寺博志, 瀧澤 保, 渋谷 淳, 広瀬雅雄: NonylphenolのDMH-DMBA誘発ラット乳腺および大腸腫瘍に対する修飾作用

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

瀧澤 保, 今井俊夫, 田村 啓, 上田 誠, 小野寺博志, 安原加壽雄, 高木久宜, 三森国敏^{*}, 広瀬雅雄: 麩酸によるラット肝発癌修飾作用

第18回日本毒性病理学会(2002.1)

^{*} 東京農工大学

渋谷淳, 畝山智香子: PALMを用いたパラフィン包埋微量組織からのRNA, 蛋白質, DNAの解析について—メタカーン固定法の利用

第90回日本病理学会総会ランチョンセミナー (2001.4)

渋谷淳, 高橋則行, 広瀬雅雄: ラット肝発がんプロモーション過程に特異的に発現増加する遺伝子群の同定
第16回発癌病理研究会 (2001.8)

榊富直哉, 渋谷淳, 畝山智香子, 中川恵子, 仁保直子, 高橋則行, 小林恒雄, 広瀬雅雄: メトキシクロールの周産期曝露によるラットの性成熟および生殖器系への影響について
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)

上田誠, 仁保直子, 小野寺博志, 瀧澤保, 渋谷淳, 今井俊夫, 広瀬雅雄: GenisteinのDMBA誘発ラット乳腺腫瘍に対する修飾作用
第60回日本癌学会総会 (2001.10)

高橋則行, 渋谷淳, 畝山智香子, 榊富直哉, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ラット肝中期発がん試験法のプロモーション過程で恒常的に発現が上昇した遺伝子群の特性
第60回日本癌学会総会 (2001.10)

渋谷淳, 畝山智香子, 仁保直子, 高橋則行, 榊富直哉, 三森国敏, 広瀬雅雄: p53 (+/-) CBA マウスENU誘発子宮腫瘍モデルにおけるethinylestradiolによる発癌促進作用下でのエストロジェン応答性遺伝子の発現
第60回日本癌学会総会 (2001.10)

畝山智香子, 渋谷淳, 榊富直哉, 高橋則行, 広瀬雅雄: メタカーン固定・パラフィン包埋切片からの多目的な遺伝子発現解析 (第三報)
第60回日本癌学会総会 (2001.10)

Makoto Shibutani, Takuro Arimura, Masao Hirose: **Molecular profiling of genes showing altered expression in the livers of rats treated with non-genotoxic carcinogens for 28 days.**
International Symposium of Environmental Endocrine Disruptors (2001.12)

高木広憲, 渋谷淳, 榊富直哉, 畝山智香子, 高橋則行, 有村卓朗, 三森国敏^{*1}, 広瀬雅雄: DiisononylphthalateおよびGenisteinの周産期曝露によるラットの性成熟および生殖器系への影響について
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)

^{*1} 東京農工大学

榊富直哉, 渋谷淳, 高木広憲, 畝山智香子, 高橋則行,

有村卓朗, 広瀬雅雄: エチニルエストラジオールの周産期曝露により誘発されるラット内分泌・生殖器系の変化に及ぼす実験動物用飼料の影響について
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)

有村卓朗, 渋谷淳, 高橋則行, 畝山智香子, 高木広憲, 石田誠一, 小澤正吾, 澤田純一, 広瀬雅雄: 非遺伝子傷害性肝発がん物質投与によって発現の変化する遺伝子群のカタログ化
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)

上田誠, 仁保直子, 今井俊夫, 小野寺博志, 瀧澤保, 渋谷淳, 広瀬雅雄: NonylphenolのDMH-DMBA誘発ラット乳腺および大腸腫瘍に対する修飾作用
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)

畝山智香子, 渋谷淳, 高橋則行, 有村卓朗, 高木広憲, 広瀬雅雄: ラット肝二段階発がんモデルにおけるp53関連遺伝子及び増殖関連遺伝子産物の変動について
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)

渋谷淳, 高橋則行, 有村卓朗, 広瀬雅雄: 発がん性検出のためのToxicogenomics—ラットにおける非遺伝子傷害性肝発がん物質投与による発現遺伝子のプロファイリング (ミニシンポジウム)
日本薬学会 第122年会 (2002.3)

広瀬雅雄: がんと抗酸化物質
第22回油化学酸化セミナー (2001.4)

広瀬雅雄: 臓器毒性・毒性試験 (変異原性, 発がん性)
2001年度日本トキシコロジー学会講習会 (2001.7)

広瀬雅雄, 今井俊夫: DHPNラット甲状腺発がんのプログレーション過程における遺伝子発現
第91回日本病理学会総会 (2002.3)

広瀬雅雄: Effects of EDCs on Chemical Carcinogenesis
KFDA/NITR Endocrine Disruptors International Symposium (2001.11)

Takai, A.^{*1}, Watabe, Y.^{*1}, Ueno, K.^{*2}, Hayashi, M.: Fish micronucleus test using kidney, gill and erythrocytes
8th International Conference on Environmental Mutagens (2001.10)

^{*1} Osaka Shin-Ai College

^{*2} Kinki University

Hamada, S.*¹, Kukita, K.*¹, Nakajima, K.*², Serikawa, T.*², Hayashi, M.: **Evaluation of the micronucleus assay using rat: The sex related differences**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*¹ SSP Co., Ltd.

*² Graduate School of Medicine, Kyoto University

Sofuni, T.*¹, Hayashi, M., Matsuoka, A., Ishidate, M. Jr.*², Miura, K.F.*¹, Shimizu, H.*³, Suzuki, Y.*³, Morimoto, K.*⁴, Shimizu, M.*⁴, Mure, K.*⁴, Koshi, K.*⁵, Matsushima, T.*⁶: **Micronucleus induction vs. chromosome aberration induction: A Japanese MOL collaborative study using CHL/IU cells**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*¹ Olympus Optical Co., Ltd.

*² Chemical Safety Evaluation Center

*³ The Jikei University School of Medicine

*⁴ Osaka University School of Medicine

*⁵ National Institute of Industrial Health

*⁶ Japan Bioassay Research Center

Hayashi, M.: **New attempts and establishment of evaluation systems for genotoxicity**

XXVII Annual Conf. Environ. Mutagen. Soc. India & Symposium on Environ. Genomics & Health Sci. (2002. 3)

山田勉也*, 小原有弘, 鈴木孝昌, 林 真, 水谷隆治*, 佐伯憲一*: **遺伝子導入マウス (MutaTMMouse) を用いた三環性含窒素芳香族化合物の *in vivo* 突然変異誘発頻度と変異スペクトルの検討**

第47回日本薬学会東海支部大会 (2001. 7)

*名古屋市立大学大学院薬学研究科

竹本育世*, 鈴木孝昌, 小原有弘, 山田勉也*, 林 真, 水谷隆治*, 佐伯憲一*: **キノリンの4位アルキル置換による *in vivo* 変異原性への影響**

第47回日本薬学会東海支部大会 (2001. 7)

*名古屋市立大学大学院薬学研究科

本間正充: **遺伝子変異とバイオリジカルリレバンス**

日本組織培養学会第74回大会・第15回日本動物実験代替法学会大会・合同学術大会 (2001. 8)

鈴木孝昌, 小原有弘, 本間正充, 大和田智彦*, 林 真: **dibenzo[*a,l*]pyrene (DBP) および furylfuramide (AF-2) のマウスに対する遺伝子傷害性**

第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

*東京大学大学院薬学系研究科

小原有弘, 鈴木孝昌, 大和田智彦*, 本間正充, 林 真: **ジメチルアニリン異性体のマウスに対する遺伝子傷害性**

第60回日本癌学会総会 (2001. 9)

*東京大学大学院薬学系研究科

Wang, W., Seki, M.*¹, Narita, Y.*¹, Sonoda, E.*², Takeda, S.*², Yamada, K.*³, Honma, M., Hayashi, M., Enomoto, T.*¹: **Possible involvement of BLM in decreasing DNA double strand breaks during DNA replication**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*¹ 東北大学薬学部

*² 京都大学医学部

*³ 国立栄養研究所

Honma, M.*, Hakura, A.*, Miura, K.F.*, Morita, T.*, Nakayama, S.*, Oka, H.*, Sato, S.*, Sugiki, Y.*, Yamashita, Y.*, Wakata, A.*, Wakuri, S.*, Hayashi, M.*: **Establishment of a multiple-endpoint genotoxicity test system based on human cells**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*MMS研究会ヒト細胞共同研究会

Kohara, A., Suzuki, T., Honma, M., Ohwada, T.*, Hayashi, M.: **Mutagenic properties of aristolochic acid in the *lambda/lacZ* transgenic mice (MutaTMMouse)**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*東京大学大学院薬学系研究科

Asano, N.*¹, Nishikawa, T.*², Nakagawa, Y.*³, Haresaku, M.*², Suzuki, T., Hayashi, M.: **CSGMT collaborative study on rodent skin micronucleus assay**

8th International Conference on Environmental Mutagens (2001. 10)

*¹ 日東電工(株)

*² ライオン(株)

*³ (財)食品薬品安全性センター

Ali, R., Suzuki, T., Kohara, A., Honma, M., Kikuchi, Y., Hayashi, M.: ***In vivo* genotoxicity of mycotoxins; ochratoxin, nivarenol, T-2 toxin, and patulin, by comet, micronucleus and transgenic mouse mutation assays**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001. 10)

Suzuki, T., Kohara, A., Honma, M., Sakamoto, H.,
Hayashi, M.: Gene-expression analysis by the Atlas™
glass microarray after gamma-ray, 4NQO, and MMS
exposure to the human lymphoblastoid TK6 and WTK1
cells

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001. 10)

Honma, M.: Chromosomal instability in B-lymphoblastoid
cell lines from Werner's and Bloom's syndrome
patients

Shanghai Satellite Meeting for 8th ICEMS, 9th Alexander
Hollander Course (2001. 10)

後藤佐智子*^{1,2}, 泉雅子*¹, 本間正充, 鈴木啓司*², 渡
邊正巳*², 谷田貝文夫*¹: 自然突然変異誘発に関わる組
換え頻度上昇への変異 p53 蛋白の関与

日本放射線影響学会第44回大会 (2001. 10)

*¹ 理化学研究所

*² 長崎大学薬学部

森本茂子*¹, 加藤武司*¹, 本間正充, 後藤佐智子*¹, 泉
雅子*¹, 花岡文雄*¹, 谷田貝文夫*¹: 低線量電離放射線
照射によるヒト細胞での TK 突然変異

日本放射線影響学会第44回大会 (2001. 10)

*¹ 理化学研究所

後藤佐智子*^{1,2}, 泉雅子*¹, 本間正充, 鈴木啓司*², 渡
邊正巳*², 谷田貝文夫*¹: 自然突然変異誘発に関わる組
換え頻度上昇への変異 p53 蛋白の関与

第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

*¹ 理化学研究所

*² 長崎大学薬学部

Wang, W., Honma, M., Seki, M.*¹, Takao, N.*²,
Yamamoto, K.*², Hayashi, M., Enomoto, T.*¹: ATM
partly suppress increased homologous recombination
caused by BLM defect

第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

*¹ 東北大学薬学部

*² 金沢大学がん研究所

本間正充, 王文晟, 桜庭真弓, 田所聡, 泉雅子*, 谷田
貝文夫*, 林真: 制限酵素 I-SceI 発現系を用いたヒト細胞
における DNA 2本鎖切断修復の解析

第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

*理化学研究所

Kato, T.*¹, Honma, M., Morimoto, S.*¹, Yatagai, F.*¹: Fine
mapping of low events in spontaneous TK⁻ mutants of the
human lymphoblastoid cell line TK6

The 2nd International Workshop on Space Radiation
Research (2002. 3)

*理化学研究所

Honma, M., Wang, W., Sakuraba, M., Tadokoro, S., Izumi,
M.*¹, Yatagai, F.*¹, Hayashi, M.: Repair of DNA double
strand breaks in human cells induced by restriction
enzyme I-SceI

The 2nd International Workshop on Space Radiation
Research (2002. 3)

*理化学研究所

山田勉也*, 鈴木孝昌, 小原有弘, 加藤隆明*, 加瀬朋
子*, 水谷隆治*, 林 真, 佐伯憲一*: 遺伝子導入マウ
ス (Muta™ Mouse) を用いた *in vivo* 変異原性試験系に
よる 3-benzoylaminoquinoline の抗変異原活性の評価

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

*名古屋市立大学大学院薬学研究科

竹本育世*, 鈴木孝昌, 小原有弘, 山田勉也*, 林 真,
水谷隆治*, 佐伯憲一*: 遺伝子導入マウスを用いた *in
vivo* 変異原性試験におけるサンプリングタイムの重要性

日本薬学会第122年会 (2002. 3)

*名古屋市立大学大学院薬学研究科

Honma, M., Wang, W., Sakuraba, M., Tadokoro, S., Izumi,
M.*¹, Yatagai, F.*¹, Hayashi, M.: Repair of DNA double
strand breaks in human cells induced by restriction
enzyme I-SceI

The 33rd Annual Meeting of Environmental Mutagen
Society (2002. 4)

*理化学研究所

Kato, T.*¹, Honma, M., Morimoto, S.*¹, Yatagai, F.*¹: Fine
mapping of low events in spontaneous TK⁻ mutants of the
human lymphoblastoid cell line TK6

The 33rd Annual Meeting of Environmental Mutagen
Society (2002. 4)

*理化学研究所

本間正充: ほ乳類細胞における DNA 2本鎖切断修復と,
p53 によるゲノム安定化機構

平成14年度日本環境変異原学会公開シンポジウム
(2002.5)

Kim, S.-R., Matsui, K., Yamada, M., Gruz, P., Nohmi, T.:
**DNA polymerase IV (*dinB*) of *Escherichia coli* : Cellular
expression levels and their effects on targeted and
untargeted mutagenesis**

The 1st annual meeting of HFSP awardees (2001.6)

柴田敦史*^{1,2}, 鎌田宣夫*³, 野崎中成*¹, 藤原久子*¹,
増村健一, 能美健彦, 小林静子*², 杉村隆*¹, 中釜齊*¹,
鈴木宏志*³, 益谷美都子*¹: *Parp-1*欠損マウス骨髓細胞の
*in vivo*における自然突然変異

第60回日本癌学会総会 (2001.9)

*¹ 国立がんセンター

*² 共立薬大

*³ 中外製薬

能美 健彦: 変異原性試験で何がわかるか: 21世紀の展
望

日本環境変異原学会第30回大会特別講演 (2001.10)

Kondo, H.*¹, Hayashi, H.*¹, Senju, N.*¹, Ogawa, M.*¹,
Masumura, M., Shindo, Y.*¹, Nohmi, T.: **Organ variation
and time-course study of mutagenicity induced by *N*-
ethyl-*N*-nitrosourea in *gpt delta* rat**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001.10)

*¹ 明治製菓

Hayashi, H.*¹, Kondo, H.*¹, Masumura, K., Shindo, Y.*¹,
Nohmi, T.: **A novel transgenic rat mutagenesis assay
system using *Spi*⁻ and 6-thioguanine selections**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001.10)

*¹ 明治製菓

Hoshino, M.*¹, Masumura, K., Yatagai, F.*², Ochiai, M.*
³, Ueda, O.*⁴, Suzuki, H.*⁴, Nakagama, H.*³, Fukuoka, M.
*¹, Nohmi, T.: **X-ray-induced mutations in the brain and
the spleen of *gpt delta* transgenic mouse**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001.10)

*¹ 昭和薬科大学

*² 理化学研究所

*³ 国立がんセンター研究所

*⁴ 中外製薬

Masumura, K., Totsuka, Y.*¹, Wakabayashi, K.*¹, Nohmi,
T.: **Strong genotoxicity of aminophenylnorharman
(APNH) in the liver of *gpt delta* transgenic mouse**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001.10)

* 国立がんセンター研究所

Yajima, N.*¹, Hyogo, A.*², Tamura, H.*³, Nakajima, M.*⁴,
Nohmi, T.: **A collaborative validation study for *gpt delta*
mouse using diethylnitrosamine, chlorambucil, *N*-propyl-
N-nitrosourea and mitomycin C**

8th International Conference on Environmental Mutagens
(2001.10)

*¹ 雪印ラビオ

*² 三共

*³ 日本新薬(株)

*⁴ 食品農医薬品安全評価センター

Nohmi, T., Masumura, K.: **Spectrum of deletion mutations
in vivo induced by environmental mutagens**

8th International Environmental Mutagen Society (2001.
10)

Kim, S.-R., Matsui, K., Yamada, M., Gruz, P. Nohmi, T.:
**Cellular expression levels of DNA polymerase IV (*DinB*) in
*Escherichia coli***

8th International Conference of Environmental Mutagen
(2001.10)

Gruz, P., Shimizu, M., Yamada, M., Hayashi, I.*¹,
Morikawa K.*¹, Nohmi, T.: **Purification and characteri-
zation of the archaeal *DinB* homologue**

8th International Conference of Environmental Mutagen
(2001.10)

*¹ 生物工学研究所

Gruz, P., Pisani, F.M.*¹, Shimizu, M.*², Yamada, M.,
Hayashi, I.*³, Morikawa, K.*³, Nohmi, T.: **Purification
and biochemical characterization of the archaeal
representative of Y-family DNA polymerases**

The 3rd 3R symposium (2001.11)

*¹ イタリア国立蛋白質酵素学生化学研究所

*² 大妻女子大院・家政

*³ 生物工学研究所

増村健一, 星野真紀子*¹, 古川文夫, 西川秋佳, 能美健
彦: マウス個体に誘発される自然突然変異及びDMN誘
発突然変異への加齢による影響

第24回日本分子生物学会年会 (2001. 12)

*¹ 昭和薬大

清水雅富*¹, Petr Gruz, 山田雅巳, 菅家祐輔*¹, 能美健彦: 古細菌DNAホモログ *Sso* DNA Pol Y1 (DBH) によるDNA損傷部位の乗り越え

第24回日本分子生物学会年会 (2001.12)

*¹ 大妻女子大院・家政

Gruz, P., Pisani, F.M.*¹, Shimizu, M.*², Yamada, M., Hayashi, I.*³, Morikawa, K.*³, Nohmi, T.: Purification and biochemical characterization of the archaeal representative of Y-family DNA polymerases

ワークショップ, DNA損傷の修復開始としての損傷認識: 計算科学のおよび実験的アプローチ, 日本原子力研究所 東海研究所 (2001. 12)

*¹ イタリア国立蛋白質酵素学生化学研究所*² 大妻女子大院・家政*³ 生物工学研究所

Nohmi, T.: Transgenic rat *gpt* delta: a tool to analyze the different susceptibility of rats and mice to environmental mutagens and carcinogens

U.S.-Japan panel on environmental genomics and carcinogenesis (2002. 2)

Nohmi, T.: Molecular analysis of deletion mutations in vivo

Molecular toxicology seminar in UCLA (2002. 2)

Masumura, K., Horiguchi, M.*¹, Ikehata, H.*², Ono, T.*², Nohmi, T.: Molecular nature of ultraviolet B light-induced base substitutions and deletions in murine epidermis

Gordon Research Conference "Mutagenesis and Carcinogenesis" (2002. 3)

*¹ 大妻女子大院・家政*² 東北大学理学部院

Tanabe, H., Müller, S.*¹, Neusser, M.*¹, von Hase, J.*², Calcagno, E.*², Cremer, M.*¹, Cremer, C.*², Cremer, T.*¹: Evolutionary conserved 3D positioning of orthologous chromosomes and chromosome segments in primate lymphoblastoid cell nuclei

Third European Cytogenetics Conference (2001. 7)

*¹ Institute of Anthropology and Human Genetics, Ludwig Maximilians University, Germany

*² Kirchhoff Institute of Physics, University of

Heidelberg, Germany

田辺秀之, 飯塚了太, 北條麻紀, 高田容子, 川原善浩, 樽松美治*, 増井 徹, 水沢 博: STR-PCR法によるHeLa細胞とその亜株についての解析と染色体の性状

日本組織培養学会第74回大会・第15回日本実験動物代替法学会・合同学術大会 (2001. 8)

*ヒューマンサイエンス振興財団

増井 徹, 高田容子, 林 真, 水沢 博: 正常上皮細胞の密度依存性増殖停止 (topoinhibition) で誘導されるヒトEti-1とマウスEti-1の比較

日本組織培養学会第74回大会・第15回日本実験動物代替法学会・合同学術大会 (2001. 8)

高田容子, 飯塚了太, 峯岸大輔, 樽松美治*, 川原善浩, 田辺秀之, 増井 徹, 水沢 博: STR-PCR法によるヒト細胞株の品質管理データの標準化に関する検討

日本組織培養学会第74回大会・第15回日本実験動物代替法学会・合同学術大会 (2001. 8)

*ヒューマンサイエンス振興財団

水沢 博: シンポジウム; 培養細胞研究資源データベースの構築

平成13年度日本生物工学会大会 (2001. 9)

田辺秀之, Thomas Cremer*, 林 真, 水沢 博: 3D-FISH法による interphase cytogenetics: 染色体テリトリーの3次元解析

日本人類遺伝学会第46回大会 (2001. 10)

* Institute of Anthropology and Human Genetics, Ludwig Maximilians University, Germany

Tanabe, H., Müller, S.*¹, Neusser, M.*¹, Habermann, F.A.*², von Hase, J.*³, Calcagno, E.*³, Solovei, I.*¹, Cremer, M.*¹, Cremer, C.*³, Cremer, T.*¹: Radial arrangements of chromosome territories in chicken and primate cell nuclei by multicolor 3D-FISH: Evolutionary considerations

The 5th International Symposium on Chromosomal Aberrations-Perspectives for the 21st Century-MMS 20th anniversary meeting (2001. 10)

*¹ Institute of Anthropology and Human Genetics, Ludwig Maximilians University, Germany

*² Chair of Animal Breeding, Technical University of Munich, Germany

*³ Kirchhoff Institute of Physics, University of Heidelberg, Germany

田辺秀之：3D-FISH法による染色体テリトリーの3次元解析：これからのinterphase cytogenetics
第109回染色体研究会 (2002.4)

飯塚了太，田辺秀之，高田容子，北條麻紀，樽松美治*，増井 徹，水沢 博：STRプロファイルの長期継代培養における安定性：HeLa関連4細胞株を用いた解析
日本組織培養学会第75回大会 (2002.5)
*ヒューマンサイエンス振興財団

秦 宏樹*，増井 徹：再生医療を支えるもの—考え方と現実と私たち研究者にできること—
日本組織培養学会第75回大会，シンポジウム (2002.5)
*東京通信病院 産婦人科

田辺秀之，Marion Cremer*，Thomas Cremer*，北條麻紀，林 真，水沢 博：3D-FISH法によるヒト18番および19番染色体のトポロジー：間期核における染色体テリトリーの解析
第55回日本細胞生物学会・第35回日本発生生物学会・合同大会 (2002.5)
*ミュンヘン大学 生物学科Ⅱ—人類遺伝学

山本 讓*，伊藤義彦*，小泉睦子，鎌田栄一，長谷川隆一：2,4-ジニトロフェノールの新生児および若齢ラットにおける発現毒性および無毒性量の比較検討
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)
*畜産安全性研究所

鷹野正生*，榎並倫宣*，小泉睦子，鎌田栄一，長谷川隆一：4-ニトロフェノールナトリウムの新生児および若齢ラットにおける発現毒性および無毒性量の比較検討
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)
*ボゾリサーチ

緒方英博*，浜村政夫*，古川浩美*，小泉睦子，鎌田栄一，長谷川隆一：クロロフェノールの新生児および若齢ラットにおける発現毒性および無毒性量の比較検討
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)
*パナファーム

山口真樹子*¹，伊藤義彦*¹，三森国敏*²，鎌田栄一，長谷川隆一：テトラブロモフェノールAの新生児ラットにおける哺育期投与毒性試験
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)
*¹ボゾリサーチ
*²東京農工大

広瀬明彦，鎌田栄一，西川秋佳，紅林秀雄，江馬 眞，黒川雄二*，長谷川隆一：ホルムアルデヒドの経口および吸入曝露による毒性評価と水道水におけるリスクアセスメント
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)
*佐々木研究所

池崎信一郎*，西村信雄*，池谷政道*，梅村健夫*，若林佐知子*，工藤佳代子*，中村 厚*，田村一利*，鎌田栄一，長谷川隆一：パラクミルフェノールの新生児ラットにおける雌性生殖器に対する影響 (第2報)
第18回日本毒性病理学会 (2002.1)
*ボゾリサーチ

Koizumi M, Yamamoto Y*¹, Ito Y*¹, Takano M*², Enami T*², Kamata E, Hasegawa R: Comparative study of the toxicity of 4-nitrophenol and 2,4-dinitrophenol in young and newborn rats
The 41th Annual Meeting Society of Toxicology (2002.3)
*¹ Research Institute for Animal Science in Biochemistry and Toxicology
*² Bozo Research Center Inc.

四方田千佳子，田頭洋子，岡田敏史：平成12年度の医薬品分析の技能試験
第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001.11)

前川京子，小出達夫，斎藤博幸，原園 景，江馬 眞，谷本 剛，岡田敏史：エルカトニン製剤の含量評価における問題点
第38回全国衛生化学技術協議会 (2001.11)

谷本 剛：ICH/原薬GMPガイドラインの実施に伴う，不純物プロファイルに基づく原薬の製造工程管理及び品質管理
第38回全国衛生化学技術協議会 (2001.11)

山本真由美*，公文道子*，斎藤博幸，中野 実*，半田哲郎*：脂質エマルションの粒子径による血漿アポリポ蛋白質選択性とそのリポリシスへの効果
第23回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2001.11)
*京都大学大学院薬学研究科

田中将史*¹，斎藤博幸，岡村恵美子*²，木村智大*²，中原 勝*²，半田哲郎*¹：アポリポ蛋白質A-Iによる脂質膜表面構造の認識
膜シンポジウム 2001 (2001.11)
*¹京都大学大学院薬学研究科

*2 京都大学化学研究所

斎藤博幸, Sissel Lund-Katz^{*1}, Karl H. Weisgraber^{*2},
Michael C. Phillips^{*1}: 脂質膜結合によって誘起される
アポリポ蛋白質Eの構造変化

日本薬学会第122年会 (2002.3)

^{*1} The Children's Hospital of Philadelphia

^{*2} Gladstone Institute of Cardiovascular Disease

斎藤博幸: 膜構造によるアポリポタンパク質の機能制御
日本膜学会第24年会 (2002.5)

小出達夫, 渕野裕之, 高橋真理依, 関田節子, 佐竹元吉*,
谷本 剛, 岡田敏史: 南米産薬用植物 *Elephantopus*
mollis 由来セスキテルペンの抗リーシュマニア作用に関
する研究

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*日本薬剤師研修センター

中村優美子, 辻 澄子, 外海泰秀: ラットにおけるタン
ニン酸及びブドウ種子ポリフェノールの代謝

日本薬学会第122年会 (2002.3)

辻 澄子, 海野有紀子, 中村優美子, 外海泰秀: 食用黄
色5号アルミニウムレーキの不適事例について
第38回全国衛生化学技術協議会年会 (2001.11)

海野有紀子, 辻 澄子, 中村優美子, 外海泰秀: 食用赤
色104号及び105号中の不純物ヘキサクロロベンゼン含
有量調査

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

石光 進, 開原亜樹子, 吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美
子, 外海泰秀: 農産物中テクロフタラムのHPLC法による
分析

日本薬学会第122年会 (2002.3)

吉井公彦, 開原亜樹子, 津村ゆかり, 石光 進, 外海泰秀:
農薬標準品の水分含量

日本食品衛生学会第82回学術講演会 (2001.10)

石綿 肇: 日本人の食品添加物の摂取量について
第18回食品添加物技術研究会 (2001.6)

松野伸広*, 加藤文秋*, 石橋 亨*, 伊藤 武*, 坂井
千三*, 石綿 肇: 保存料のパラオキシ安息香酸エステ
ル類およびヘプチルエステルのHPLC分析法

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

* (財)東京顕微鏡院

水野竹美*, 金子旬一*, 加藤文秋*, 石橋 亨*, 伊藤
武*, 坂井千三*, 石綿 肇: 亜硝酸のHPLCけい光分
析におよぼすアスコルビン酸の影響

日本食品衛生学会第83回学術講演会 (2002.5)

* (財)東京顕微鏡院

江馬 真, 宮脇英美子: モノブチルフタレート of 妊娠及
び偽妊娠ラットにおける生殖機能に対する影響
第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)

原園 景, 江馬 真: 二塩化ジブチルスズの偽妊娠ラッ
トにおける脱落膜反応に対する影響

第28回日本トキシコロジー学会学術年会 (2001.6)

江馬 真: フタル酸エステルの雄性性分化に及ぼす影響
第7回環境ホルモン学会講演会-内分泌攪乱とアンドロ
ゲン- (2001.6)

江馬 真, 宮脇英美子: ラット雄胎児の性分化に及ぼす
モノブチルフタレートの影響

第40回日本先天異常学会学術集会 (2001.7)

Ema, M. Miyawaki, E.: Effects of progesterone on
suppression of uterine decidualization and implantation
failure induced by triphenyltin chloride in rats
2001 EUROTOX (2001.9)

Ema, M. Miyawaki, E.: Roles of progesterone on
suppression of uterine decidualization and implantation
failure induced by diphenyltin dichloride (DPTCI) in rats
Society of Toxicology, the 41st Annual Meeting (2002.3)

熊谷健夫: 甘草生産のための栽培および育種に関する研
究

甘草に関するシンポジウム (2001.7)

柴田敏郎: 寒冷地における薬用植物栽培と将来展望
第7回薬用植物シンポジウム広島 (2001.9)

熊谷健夫, 柴田敏郎, 畠山好雄, 吉松嘉代, 下村講一
郎: ケシの直接抽出法に関する研究 (1) 北海道におけ
る栽培法とアヘンアルカロイド含量について
日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

柏田良樹*, 間瀬 泉*, 池城安正*, 柴田敏郎, 熊谷健
夫, 畠山好雄: 栽培ダイオウ地上部の成分研究

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*新潟薬科大学

柴田敏郎, 細川敬三, 菱田敦之, 飯田 修, 酒井英二, 香月茂樹, 近藤誠三*¹, 岡 賢治*¹, 南 基泰*², 佐竹元吉*³: 茵陳蒿の生産について (6) カワラヨモギの生育・成分含量に及ぼす栽培地域の影響

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 小太郎漢方製薬(株)

*² 中部大学応用生物学部

*³ 日本薬剤師研修センター

Toshiro SHIBATA: Present Status and Prospects of Medicinal Plants in Japan

Korean Society of Medicinal Crop Science International Symposium 2001 (2001.11)

中根孝久, 関田節子, 佐竹元吉*¹, 細川敬三*², 畠山好雄, 柴田敏郎, 飯田 修, 香月茂樹: マオウ科 *Ephedraceae* 植物のエフェドリン含量 II-国内栽培試験種及び国外野生種-

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 日本薬剤師研修センター

*² 兵庫大学

菱田敦之, 姉帯正樹*¹, 林 隆章*¹, 青柳光敏*¹, 関田節子, 細川敬三*²: ヒナタイノコズチ *Achyranthes fauriei* の栽培研究-摘心処理の効果-

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 北海道立衛研

*² 兵庫大学

下村裕子, 関田節子, 佐竹元吉*¹, 徳川齊正*², 徳川真木*²: 徳川家康の薬「烏犀圓」V

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 日本薬剤師研修センター

*² 水府明徳会彰考館徳川博物館

増田和夫*¹, 高野昭人*¹, 塩島憲治*¹, 川原信夫, 中根孝久, 関田節子, 佐竹元吉*²: 中国産芽根の新規トリテルペノイド

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 昭和薬科大学

*² 日本薬剤師研修センター

瀧野裕之, 菱田敦之, 細川敬三*¹, 関田節子, 佐竹元吉, Pham Thanh Ky*², Le Quan Toan*³: ベトナム産薬用植物 *Achyranthes aspera* の成分について-国内産

Achyranthes 属植物との比較-

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 兵庫大学

*² ハノイ薬科大学

*³ ハノイ薬化学センター

Fuchino, H., Ky, P. T.*¹, Toan, L.Q.*², Sekita, S.: Studies on the Chemical Constituents of *Achyranthes aspera*

The Second Indochina Conference on Pharmaceutical Sciences, Pharma Indochina II (2001.10)

*¹ Hanoi College of Pharmacy

*² Center for Pharmaceutical Chemistry of Hanoi

瀧野裕之, 高橋真理衣, 川原信夫, 河合賢一*¹, 関田節子, 佐竹元吉*²: *Emericella* 属菌類代謝産物の抗リーシュマニア活性

第15回微生物シンポジウム 微生物化学の発展と感染症対策

*¹ 星薬大

*² 日本薬剤師研修センター

高橋真理衣, 瀧野裕之, 関田節子, 佐竹元吉*¹: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*¹ 日本薬剤師研修センター

高橋真理衣, 瀧野裕之, 川原信夫, 河合賢一*¹, 関田節子, 佐竹元吉*²: 菌類代謝産物の抗リーシュマニア活性

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*¹ 星薬大

*² 日本薬剤師研修センター

関田節子: いま, 薬剤師が期待されていること「漢方薬・生薬薬剤師講座を実施して」

日本薬学会第122年会 (2002.3)

瀧野裕之, 高橋真理衣, 関田節子, 佐竹元吉*¹: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*¹ 日本薬剤師研修センター

中根孝久, 増田和夫*¹, 川原信夫, 関田節子, 塩島憲治*¹, A.K.Chakravarty: インド産 *Bacopa monniera* の配糖体成分

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*¹ 昭和薬科大学

福島紀子*¹, 宮本法子*², 小島 尚*³, 関田節子: イン

ターネット販売等によるサプリメントに含有されるカフェインについて

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 共立薬大

*2 東京薬大

*3 神奈川衛研

野中貴子*1, 石原島栄二*1, 世取山守*1, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉*2, 渡辺和人*3, 山本郁男*3: VIII大麻試験法(4) キャピラリーガスクロマトグラフィー

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 栃木保健環境センター

*2 日本薬剤師研修センター

*3 北陸大薬学部

三上栄一*1, 大野 勉*1, 松本 浩*1, 関田節子: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(10) 健康食品中に含有するフェントラミンの分析

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 愛知県衛生研究所

小島 尚*1, 土井佳代*1, 関田節子: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(11) セントジョーンズワートを含むサプリメントの品質に関する検討

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 神奈川県衛生研究所

中嶋順一*1, 安田一郎*1, 関田節子: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(12) Dietary Supplementに含まれる医薬品成分とその作用量

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 東京都立衛生研究所

村瀬広恵*, 東野薫, 吉松嘉代, 藤伊正*, 福本亮平*, 下村講一郎: 絶滅危惧種ムラサキ (*Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et.Zucc.) の超低温保存に関する研究

第19回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2001.7)

* 東洋大学生命科学部

田中章江*1, 下村講一郎, 西川和孝*2, 石丸幹二*1: ヒマラヤヤマボウシ不定根のタンニン生産能(2)

第19回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2001.7)

*1 佐賀大学農学部

*2 鳴門教育大学教育学部

平野啓*, 下村講一郎, 山川隆*: *Atropa belladonna* に

よる芳香族有機酸添加に対する応答について

第19回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2001.7)

* 東京大学大学院農学生命科学研究科

東野薫*1, 福本亮平*1, 吉松嘉代, 矢崎一史*2, 藤伊正*1, 下村講一郎*1: 培養ムラサキシユートのシコニン誘導体形成に対するエチレンの影響

日本農芸化学会2002年度大会 (2002.3)

*1 東洋大学生命科学部

*2 京都大学大学院生命科学研究科

吉松嘉代, 中尾伸子, 関田節子, 下村講一郎*1, 牧野由起子*2: 逆相固相抽出によるケシ属植物体からのアルカロイドの精製とHPLC分析

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 東洋大学生命科学部

*2 関東信越厚生局麻薬取締部

高上馬希重*1, 吉田茂男*1, 飯田修, 関田節子, 佐竹元吉*2, 牧野由紀子*3: 大麻 *Cannabis sativa* L. の花成特性に関する研究

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*1 理化学研究所

*2 日本薬剤師研修センター

*3 関東信越厚生局麻薬取締部

高上馬希重*1, 吉田茂男*1, 飯田修, 栗原孝吾, 山田和也, 香月茂樹, 鍋木紘一, 野崎トモ子, 黒柳正典*2: 「有用植物資源のジーンバンク化」日本国内で保存栽培されているウコン (*Curcuma*) 属植物の評価について

日本香辛料研究会年会 (2001.11)

*1 理化学研究所

*2 広島県立大学生物資源学部

高上馬希重*1, 吉田茂男*1, 飯田修, 関田節子, 佐竹元吉*2, 牧野由紀子*3: 大麻 *Cannabis sativa* L. 識別のための AFLP マーカー

日本DNA多型学会第10回学術集会 (2001.11)

*1 理化学研究所

*2 日本薬剤師研修センター

*3 関東信越厚生局麻薬取締部

高上馬希重*1, 村中俊哉*1, 吉田茂男*1, 飯田修, 牧野由紀子*2, 関田節子, 佐竹元吉*3: 大麻 *Cannabis sativa* L. 識別のための AFLP マーカーの開発

日本薬学会第122年会 (2002.3)

*1 理化学研究所

*2 関東信越厚生局麻薬取締部

*3 日本薬剤師研修センター

(*Mallotus philippinensis*) の抗アレルギー成分の研究

日本生薬学会第48回年会 (2001.9)

*1 日本大学薬学部

大根谷章浩*1, 北中進*1, 香月茂樹: クスノハガシワ